

大学番号：私177

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の設置

認可

修文大学 看護学部

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人修文学院
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課） 事務局

職名・氏名 ガクセイシエン 学生支援センター長 チョウ 江崎ヒロシ

電話番号 0586-45-2101

（夜間） 0586-45-2101

F A X 0586-45-4410

e-mail esaki.h@shubun.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

- 3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

看護学部

＜看護学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. 既設大学等の状況	18
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	34
7. その他全般的事項	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

修文学院
学校法人~~一宮女学園~~

(2) 大学名

修文大学

看護学部
看護学科

〒491-0938

愛知県一宮市日光町6番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヨシダ シュウゾウ) 吉田 収蔵 (平成16年4月)	(ヨシダ マサト) 吉田 真人 (平成28年4月)	前任者、一身上の都合により辞任のため (28)
学長	(ササキ タダシ) 佐々木 直 (平成20年4月)	(ニワ トシミツ) 丹羽 利充 (平成28年4月)	任期満了のため (28)
学部長	(イシグロ アヤコ) 石黒 彩子 (平成28年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

看護
看護

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
看護学部 看護学科 学士（看護学）	保健衛生学関係 （看護学関係）	4 年	100 人	0 年次 人	400 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	100人 () []	人	100人 () []	人	100人 () []	人	100人 () []	人	1.04倍	1.04倍	
志願者数	335 () []	— () []	562 () []	— () []	786 () []	— () []	848 () []	— () []			
受験者数	328 () []	— () []	557 () []	— () []	772 () []	— () []	833 () []	— () []			
合格者数	246 () []	— () []	283 () []	— () []	302 () []	— () []	273 () []	— () []			
B 入学者数	108 () []	— () []	102 () []	— () []	105 () []	— () []	103 () []	— () []			
入学定員超過率 B/A	1.08		1.02		1.05		1.03				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	108 [—] (—)	— [—] (—)	102 [—] (—)	— [—] (—)	106 [—] (1)	— [—] (—)	103 [—] (—)	— [—] (—)	
2 年次	/		107 [—] (—)	— [—] (—)	113 [—] (14)	— [—] (—)	119 [—] (15)	— [—] (—)	
3 年次	/		/		90 [—] (—)	— [—] (—)	95 [—] (13)	— [—] (—)	
4 年次	/		/		/		87 [—] (—)	— [—] (—)	
計	108 [—] (—)		209 [—] (—)		309 [—] (—)		404 [—] (—)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	0人	0人	平成27年度	0人	0人	
平成28年度	108人	1人	平成27年度	0人	0人	
			平成28年度	1人	0人	一身上の都合(経済的理由)
平成29年度	209人	5人	平成27年度	0人	0人	
			平成28年度	3人	0人	進路変更の為
			平成29年度	2人	0人	進路変更の為
平成30年度	309人	8人	平成27年度	0人	0人	
			平成28年度	2人	0人	
			平成29年度	5人	0人	
			平成30年度	1人	0人	
令和元年度	404人	0人	平成27年度	0人	0人	
			平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		14人		14人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{108} = \boxed{0.92} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{209} = \boxed{2.39} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{8}{309} = \boxed{2.58} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{404} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎 教養 科目	生活美学	1前	2								1
	言語と表現	1後	2								1
	家族社会学	2前	2								1
	教育学	1後	1								1
	音楽	2前	1								1
	哲学	2後	2								1
	心理学	1後	1								1
	国際文化論	1前	1								1
	食文化論	1前	1								1
	生命倫理	1後	1								1
	日本国憲法	1前	2								1
	ジェンダー論	1前	2								1
	暮らしと経済	1前	2								1
	生物学	1前	2								1
	物理	1後	2								1
	化学	1後	1								1
	情報科学	1前	1								1
	統計学	2前	1								1
	コミュニケーション英語Ⅰ	1後	2								1
	コミュニケーション英語Ⅱ	2前	2								1
	総合英語	1前	2								1
	臨床応用英語	3前	1								1
	英語文献購読	4後	1								1
	中国語	1前	1								1
	フランス語	1前	1								1
	手話	1後	1								1
コミュニケーション論	1後	1								1	
カウンセリング論	1後	1								1	
健康運動スポーツ科学論	1前	1								1	
健康運動スポーツ実技	1後	1								1	
小計(30科目)	-	12	18								
専門 基礎 科目	人体解剖学	1前	1			1					
	人体組織学	1前	1			1					
	人体生理学	1後	2			1					1
	生化学	1後	2								
	病理学	1後	2			1					
	免疫学	1後	2			1					
	薬理学	2前	2			1					
	病態治療学Ⅰ	1後	2			1					
	病態治療学Ⅱ	2前	2								4
	病態治療学Ⅲ	2後	1								6
	病態生理学	2前	1			1					
	臨床検査医学	2後	1			1					
	臨床栄養学	2前	2			1					
	公衆衛生学	2後	1			1					
	国際保健環境学	3前	1			1					
	疫学	2後	2			1					
	保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1			1					
	保健医療福祉行政論Ⅱ	3前	2			1					
小計(18科目)	-	18									

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎 教養 科目	生活美学	1前	2								1
	言語と表現	1後	2								1
	家族社会学	2前	2								1
	教育学	1後	1								1
	音楽	2前	1								1
	哲学	2後	2								1
	心理学	1後	1								1
	国際文化論	1前	1								1
	食文化論	1前	1								1
	生命倫理	1後	1								1
	日本国憲法	1前	2								1
	ジェンダー論	1前	2								1
	暮らしと経済	1前	2								1
	生物学	1前	2								1
	物理	1後	2								1
	化学	1後	1								1
	情報科学	1前	1								1
	統計学	2前	1								1
	コミュニケーション英語Ⅰ	1後	2								1
	コミュニケーション英語Ⅱ	2前	2								1
	総合英語	1前	2								1
	臨床応用英語	3前	1								1
	英語文献購読	4後	1								1
	中国語	1前	1								1
	フランス語	1前	1								1
	手話	1後	1								1
コミュニケーション論	1後	1								1	
カウンセリング論	1後	1								1	
健康運動スポーツ科学論	1前	1								1	
健康運動スポーツ実技	1後	1								1	
小計(30科目)	-	12	18								
専門 基礎 科目	人体解剖学	1前	1			1					
	人体組織学	1前	1			1					
	人体生理学	1後	2			1					1
	生化学	1後	2								
	病理学	1後	2			1					
	免疫学	1後	2			1					
	薬理学	2前	2			1					
	病態治療学Ⅰ	1後	2			1					
	病態治療学Ⅱ	2前	2								4
	病態治療学Ⅲ	2後	1								6
	病態生理学	2前	1			1					
	臨床検査医学	2後	1			1					
	臨床栄養学	2前	2			1					
	公衆衛生学	2後	1			1					
	国際保健環境学	3前	1			1					
	疫学	2後	2			1					
	保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1			1					
	保健医療福祉行政論Ⅱ	3前	2			1					
小計(18科目)	-	18									

専 門 科 目	看護学概論Ⅰ	1前	1			1					
	看護学概論Ⅱ	2前	1			1					
	ヘルスアセスメント	2前	2		1	1	1				
	基礎看護援助技術Ⅰ	1後	2		1	1	1				
	基礎看護援助技術Ⅱ	2前	2		1	1	1				
	看護援助論	2後	1		1	1	1				
	看護援助演習	2後	1		1	1	1				
	成人看護援助概論	2前	1		1						
	急性期看護援助概論	2後	1		1						
	急性期看護援助論	3前	2				2				
	慢性期療養生活援助概論	2後	1		1						
	慢性期療養生活援助論	3前	2		1	1					
	ターミナルケア論	4後		1		1	1				
	リハビリテーション論	2前		1			1			2	
	クリティカルケア論	2後		1				1			
	がん看護	3前		1				1			
	母性看護援助概論	2後		1		1					
	母性看護援助論	3前		2		1	1	1			
	小児看護援助概論	2後		1		1					
	小児看護援助論	3前		2		1	2				
	老年看護援助概論	2後		1		1					
	老年看護援助論	3前		2		1					
	精神看護援助概論	2前		1		1					
	精神看護援助論	3前		2		1	1	1			
	在宅看護援助概論	2前		1		1					
	在宅看護援助論	3前		2		1	1	1			
	学校看護	2後		1			1				
	災害看護	4後		1				1			1
	国際看護	3前		1				2			
	健康危機管理論	4後		1				2			
	人間工学	2後		1				1			
	特別講義	4後		1		1					
	家族看護	3前		1		2	2				
	生涯発達論	1後		1				1			
	予防看護	2前		1		6	1				
	感染看護	2前		1					2		
	チームケア論	2前		1		1	1			2	
	栄養ケア論	2後		1		1				1	
	認知症看護	2後		1						1	
	健康教育学Ⅰ	2後		1		1				1	
	健康教育学Ⅱ	3前		1		1	1	1		1	
	看護過程演習	3前		1			4	6	2		
	看護管理論	3前		1		1					
	保健統計学Ⅰ	2後		1		1					
	保健統計学Ⅱ	3前		1		1					
	看護研究方法Ⅰ	3後		1		1					
	看護研究方法Ⅱ	4通		1		10	5	7	2		
基礎ゼミナール	1前		1		4	1	7	3			
専門ゼミナール	3後		1		10	5	8	2			
公衆衛生看護学概論Ⅰ	2前		1		1						
公衆衛生看護学概論Ⅱ	4前		1		1						
地域看護診断論	2後		2				1	1			

専 門 科 目	看護学概論Ⅰ	1前	1			1					
	看護学概論Ⅱ	2前	1			1					
	ヘルスアセスメント	2前	2		1	1	1	1			
	基礎看護援助技術Ⅰ	1後	2		1	1	1	1			
	基礎看護援助技術Ⅱ	2前	2		1	1	1	1			
	看護援助論	2後	1		1	1	1	1			
	看護援助演習	2後	1		1	1	1	1			
	成人看護援助概論	2前		1				1			
	急性期看護援助概論	2後		1							
	急性期看護援助論	3前		2					2		
	慢性期療養生活援助概論	2後		1				1			
	慢性期療養生活援助論	3前		2		1			1		
	ターミナルケア論	4後		1			1				1
	リハビリテーション論	2前		1					1		2
	クリティカルケア論	2後		1				1			1
	がん看護	3前		1							1
	母性看護援助概論	2後		1		1					
	母性看護援助論	3前		2		1	1	1	1		
	小児看護援助概論	2後		1		1					
	小児看護援助論	3前		2		1	2				
	老年看護援助概論	2後		1		1					
	老年看護援助論	3前		2		1					
	精神看護援助概論	2前		1		1					
	精神看護援助論	3前		2		1	1	1			
	在宅看護援助概論	2前		1		1					
	在宅看護援助論	3前		2		1	1	1	1		
	学校看護	2後		1					1		
	災害看護	4後		1					1		1
	国際看護	3前		1					2		
	健康危機管理論	4後		1					2		
	人間工学	2後		1					1		
	特別講義	4後		1		1					
	家族看護	3前		1		3	1				
	生涯発達論	1後		1							1
	予防看護	2前		1			7				
	感染看護	2前		1						1	1
	チームケア論	2前		1		1		1			2
	栄養ケア論	2後		1		1					1
	認知症看護	2後		1				1			
	健康教育学Ⅰ	2後		1		1			1	1	1
	健康教育学Ⅱ	3前		1		1	1	1	1	1	1
	看護過程演習	3前		1			1	1	7	1	
	看護管理論	3前		1		1					
	保健統計学Ⅰ	2後		1		1					
	保健統計学Ⅱ	3前		1		1					
	看護研究方法Ⅰ	3後		1		1					
	看護研究方法Ⅱ	4通		1			10	2	11	3	
基礎ゼミナール	1前		1			4	1	11	3		
専門ゼミナール	3後		1			10	2	11	3		
公衆衛生看護学概論Ⅰ	2前		1		1						
公衆衛生看護学概論Ⅱ	3前		1		1						
地域看護診断論	2後		2					1	1		

	地域ケアシステム論	3前	1		1		1	1													
	公衆衛生看護援助論	3前	2				1	1													
	公衆衛生活動看護実践論Ⅰ	3前	2		1		1														
	公衆衛生活動看護実践論Ⅱ	4前	2		1		1	1													
	公衆衛生看護管理論	4前	1		1																
	基礎看護学実習Ⅰ	2前	1		1	1	1								16						
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2		1	1	1								16						
専 門 科 目	急性期看護学実習	3後～4前	3					2							4						
	慢性期看護学実習	3後～4前	3		1	1									4						
	母性看護学実習	3後～4前	2		1	1	1	1		1					1						
	小児看護学実習	3後～4前	2					2							2						
	老年看護学実習Ⅰ	3後～4前	2			1									3						
	老年看護学実習Ⅱ	3後～4前	2			1									3						
	精神看護学実習	3後～4前	2		1		1	1		1					2						
	在宅看護学実習	3後～4前	2		1	1	1	1							2						
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4後	4		1		1	1	1												
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後	1		1		1	1	1												
	統合看護実習	4前	2		6	5	9	3	16												
	小計(70科目)	-	49	21																	
	合計	-	79	39																	
	卒業要件及び履修方法																				
	「基礎教養科目」で必修15単位、選択必修11単位以上の計26単位、「専門基礎科目」で必修科目28単位、「専門科目」で必修71単位、選択必修3単位以上を修得し合計128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:45単位(年間)) ※公衆衛生看護学及び臨地実習で9科目は保健師教育課程選択者のみ該当する。																				

	地域ケアシステム論	4前	1		1		1	1													
	公衆衛生看護援助論	4前	2		1		1	1													
	公衆衛生活動看護実践論Ⅰ	3前	2		1		1	1		1											
	公衆衛生活動看護実践論Ⅱ	3前	2		1		1	1		1									1		
	公衆衛生看護管理論	4前	1		1																
	基礎看護学実習Ⅰ	2前	1		1	1	1			1					3						
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2		1	1	1			1					3						
専 門 科 目	急性期看護学実習	3後～4前	3					2							4						
	慢性期看護学実習	3後～4前	3		1	1									4						
	母性看護学実習	3後～4前	2		1	1	1	1		1					1						
	小児看護学実習	3後～4前	2					2						2							
	老年看護学実習Ⅰ	3後～4前	2			1									1						
	老年看護学実習Ⅱ	3後～4前	2			1									1						
	精神看護学実習	3後～4前	2		1		1	1		1					1						
	在宅看護学実習	3後～4前	2		1	1	1	1							1						
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4後	4		1		1	1	1												
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後	1		1		1	1	1												
	統合看護実習	4前	2		7	2	11	3	13												
	小計(70科目)	-	49	21																	
	合計	-	79	39																	
	卒業要件及び履修方法																				
	「基礎教養科目」で必修15単位、選択必修11単位以上の計26単位、「専門基礎科目」で必修科目28単位、「専門科目」で必修71単位、選択必修3単位以上を修得し合計128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:45単位(年間)) ※公衆衛生看護学及び臨地実習で9科目は保健師教育課程選択者のみ該当する。																				

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎 教養 科目	生活美学	1前	2							1	
	言語と表現	1後	2							1	
	家族社会学	2前	2							1	
	教育学	1後	1							1	
	音楽	2前	1							1	
	哲学	2後	2							1	
	心理学	1後	1							1	
	国際文化論	1前	1							1	
	食文化論	1前	1							1	
	生命倫理	1後	1							1	
	日本国憲法	1前	2							1	
	ジェンダー論	1前	2							1	
	暮らしと経済	1前	2							1	
	生物学	1前	2							1	
	物理	1後	2							1	
	化学	1後	1							1	
	情報科学	1前	1							1	
	統計学	2前	1							1	
	コミュニケーション英語Ⅰ	1後	2							1	
	コミュニケーション英語Ⅱ	2前	2							1	
総合英語	1前	2							1		
臨床応用英語	3前	1							1		
英語文献購読	4後	1							1		
中国語	1前	1							1		
フランス語	1前	1							1		
手話	1後	1							1		
コミュニケーション論	1後	1							1		
カウンセリング論	1後	1							1		
健康運動スポーツ科学論	1前	1							1		
健康運動スポーツ実技	1後	1							1		
小計(30科目)	-	12	18								
専門 基礎 科目	人体解剖学	1前	1			1					
	人体組織学	1前	1			1					
	人体生理学	1後	2			1					1
	生化学	1後	2								
	病理学	1後	2			1					
	免疫学	1後	2			1					
	薬理学	2前	2			1					
	病態治療学Ⅰ	1後	2			1					
	病態治療学Ⅱ	2前	2								4
	病態治療学Ⅲ	2後	1								6
	病態生理学	2前	1			1					
	臨床検査医学	2後	1			1					
	臨床栄養学	2前	2			1					
	公衆衛生学	2後	1			1					
	国際保健環境学	3前	1			1					
	疫学	2後	2			1					
保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1			1						
保健医療福祉行政論Ⅱ	3前	2			1						
小計(18科目)	-	18									

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎 教養 科目	生活美学	1前	2							1	
	言語と表現	1後	2							1	
	家族社会学	2前	2							1	
	教育学	1後	1							1	
	音楽	2前	1							1	
	哲学	2後	2							1	
	心理学	1後	1							1	
	国際文化論	1前	1							1	
	食文化論	1前	1							1	
	生命倫理	1後	1							1	
	日本国憲法	1前	2							1	
	ジェンダー論	1前	2							1	
	暮らしと経済	1前	2							1	
	生物学	1前	2							1	
	物理	1後	2							1	
	化学	1後	1							1	
	情報科学	1前	1							1	
	統計学	2前	1							1	
	コミュニケーション英語Ⅰ	1後	2							1	
	コミュニケーション英語Ⅱ	2前	2							1	
総合英語	1前	2							1		
臨床応用英語	3前	1							1		
英語文献購読	4後	1							1		
中国語	1前	1							1		
フランス語	1前	1							1		
手話	1後	1							1		
コミュニケーション論	1後	1							1		
カウンセリング論	1後	1							1		
健康運動スポーツ科学論	1前	1							1		
健康運動スポーツ実技	1後	1							1		
小計(30科目)	-	12	18								
専門 基礎 科目	人体解剖学	1前	1			1					
	人体組織学	1前	1			1					
	人体生理学	1後	2			1					1
	生化学	1後	2								
	病理学	1後	2			1					
	免疫学	1後	2			1					
	薬理学	2前	2			1					
	病態治療学Ⅰ	1後	2			1					
	病態治療学Ⅱ	2前	2								4
	病態治療学Ⅲ	2後	1								6
	病態生理学	2前	1			1					
	臨床検査医学	2後	1			1					
	臨床栄養学	2前	2			1					
	公衆衛生学	2後	1			1					
	国際保健環境学	3前	1			1					
	疫学	2後	2			1					
保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1			1						
保健医療福祉行政論Ⅱ	3前	2			1						
小計(18科目)	-	18									

地域看護診断論	2後		2				1	1										
地域ケアシステム論	3前		1			1	1	1										
公衆衛生看護援助論	3前		2				1	1										
公衆衛生活動看護実践論Ⅰ	3前		2			1	1											
公衆衛生活動看護実践論Ⅱ	4前		2			1	1	1										
公衆衛生看護管理論	4前		1			1												
基礎看護学実習Ⅰ	2前	1				1	1	1	1								16	
基礎看護学実習Ⅱ	2後	2				1	1	1	1								16	
急性期看護学実習	3後～4前	3							2								4	
慢性期看護学実習	3後～4前	3				1	1										4	
母性看護学実習	3後～4前	2				1	1	1	1								1	
小児看護学実習	3後～4前	2						2									2	
老年看護学実習Ⅰ	3後～4前	2					1	1									3	
老年看護学実習Ⅱ	3後～4前	2					1	1									3	
精神看護学実習	3後～4前	2				1		1	1								2	
在宅看護学実習	3後～4前	2				1	1	1									2	
公衆衛生看護学実習Ⅰ	4後		4			1		1	1									
公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		1			1		1	1									
統合看護実習	4前		2				6	5	10	4							16	
小計(70科目)	-	49	21															
合計	-	79	39															
卒業要件及び履修方法																		
「基礎教養科目」で必修15単位、選択必修11単位以上の計26単位、「専門基礎科目」で必修科目28単位、「専門科目」で必修71単位、選択必修3単位以上を修得し合計128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:45単位(年間)) ※公衆衛生看護学及び臨地実習で9科目は保健師教育課程選択者のみ該当する。																		

地域看護診断論	2後		2						1	1								
地域ケアシステム論	3前		1			1			1	1								
公衆衛生看護援助論	3前		2						1	1								
公衆衛生活動看護実践論Ⅰ	3前		2			1			1									
公衆衛生活動看護実践論Ⅱ	4前		2			1			1	1								
公衆衛生看護管理論	4前		1			1												
基礎看護学実習Ⅰ	2前	1				1	1	1	1	1							6	
基礎看護学実習Ⅱ	2後	2				1	1	1	1	1							6	
急性期看護学実習	3後～4前	3															4	
慢性期看護学実習	3後～4前	3				1	1										4	
母性看護学実習	3後～4前	2				1			1	1							1	
小児看護学実習	3後～4前	2							2								2	
老年看護学実習Ⅰ	3後～4前	2					1	1	1								3	
老年看護学実習Ⅱ	3後～4前	2					1	1	1								3	
精神看護学実習	3後～4前	2				1		1	1	1							2	
在宅看護学実習	3後～4前	2				1	1	1	1								2	
公衆衛生看護学実習Ⅰ	4後		4			1		1	1	1								
公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		1			1		1	1	1								
統合看護実習	4前		2						7	4	10						4	16
小計(70科目)	-	49	21															
合計	-	79	39															
卒業要件及び履修方法																		
「基礎教養科目」で必修15単位、選択必修11単位以上の計26単位、「専門基礎科目」で必修科目28単位、「専門科目」で必修71単位、選択必修3単位以上を修得し合計128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:45単位(年間)) ※公衆衛生看護学及び臨地実習で9科目は保健師教育課程選択者のみ該当する。																		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
基 礎 教 養 科 目	生活美学	1前		2								1
	言語と表現	1後		2								1
	家族社会学	2前		2								1
	教育学	1後		1								1
	音楽	2前		1								1
	哲学	2後		2								1
	心理学	1後	1									1
	国際文化論	1前		1								1
	食文化論	1前		1								1
	生命倫理	1後	1									1
	日本国憲法	1前		2								1
	ジェンダー論	1前		2								1
	暮らしと経済	1前		2								1
	生物学	1前		2								1
	物理	1後		2								1
	化学	1後	1									1
	情報科学	1前		1								1
	統計学	2前		1								1
	コミュニケーション英語Ⅰ	1後		2								1
	コミュニケーション英語Ⅱ	2前		2								1
	総合英語	1前		2								1
臨床応用英語	3前			1							1	
英語文献購読	4後			1							1	
中国語	1前			1							1	
フランス語	1前			1							1	
手話	1後			1							1	
コミュニケーション論	1後	1									1	

	カウンセリング論	1後	1							1
	健康運動スポーツ科学論	1前		1						1
	健康運動スポーツ実技	1後		1						1
	小計(30科目)	-	12	18						
専門基礎科目	人体解剖学	1前	1		1					
	人体組織学	1前	1		1					
	人体生理学	1後	2		1					
	生化学	1後	2							1
	病理学	1後	2		1					
	免疫学	1後	2		1					
	薬理学	2前	2		1					
	病態治療学Ⅰ	1後	2		1					
	病態治療学Ⅱ	2前	2							4
	病態治療学Ⅲ	2後	1							6
	病態生理学	2前	1		1					
	臨床検査医学	2後	1		1					
	臨床栄養学	2前	2		1					
	公衆衛生学	2後	1		1					
	国際保健環境学	3前	1		1					
	疫学	2後	2		1					
	保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1		1					
	保健医療福祉行政論Ⅱ	3前	2		1					
小計(18科目)	-	18								
専門	看護学概論Ⅰ	1前	1		1					
	看護学概論Ⅱ	2前	1		1					
	ヘルスアセスメント	2前	2		1	1	1	1		
	基礎看護援助技術Ⅰ	1後	2		1	1	1	1		
	基礎看護援助技術Ⅱ	2前	2		1	1	1	1		
	看護援助論	2後	1		1	1	1	1		
	看護援助演習	2後	1		1	1	1	1		
	成人看護援助概論	2前	1		1					
	急性期看護援助概論	2後	1		1					
	急性期看護援助論	3前	2				1			1
	慢性期療養生活援助概論	2後	1		1					
	慢性期療養生活援助論	3前	2		1		1			1
	ターミナルケア論	4後		1			1			
	リハビリテーション論	2前	1				1			2
	クリティカルケア論	2後	1							1
	がん看護	3前	1							1
	母性看護援助概論	2後	1		1					
	母性看護援助論	3前	2		1		1	1		
	小児看護援助概論	2後	1		1					
	小児看護援助論	3前	2		1		2			
	老年看護援助概論	2後	1		1					
	老年看護援助論	3前	2		1		1			
	精神看護援助概論	2前	1		1					
	精神看護援助論	3前	2		1		1	1		
	在宅看護援助概論	2前	1		1					
	在宅看護援助論	3前	2		1	1	1			
	学校看護	2後		1				1		
	災害看護	4後		1						1
	国際看護	3前		1						2
	健康危機管理論	4後		1						2
	人間工学	2後		1						1
特別講義	4後		1		1					
家族看護	3前		1		3	1				
生涯発達論	1後		1						1	
予防看護	2前		1		7		2			

「 科 目	感染看護	2前	1						1			1
	チームケア論	2前	1		1		1					2
	栄養ケア論	2後	1		1							1
	認知症看護	2後	1		1							
	健康教育学Ⅰ	2後	1		1		1		1			1
	健康教育学Ⅱ	3前	1		1		1		1			1
	看護過程演習	3前	1		1	1	9		2			
	看護管理論	3前	1		1							
	保健統計学Ⅰ	2後	1		1							
	保健統計学Ⅱ	3前	1		1							
	看護研究方法Ⅰ	3後	1		1							
	看護研究方法Ⅱ	4通	1		10	2	12		3			
	基礎ゼミナール	1前	1		4	1	12		4			
	専門ゼミナール	3後	1		10	2	12		3			
	公衆衛生看護学概論Ⅰ	2前	1		1							
	公衆衛生看護学概論Ⅱ	3前		1	1							
	地域看護診断論	2後		2				1	1			
	地域ケアシステム論	4前		1	1		1	1	1			
	公衆衛生看護援助論	4前		2	1		1	1	1			
	公衆衛生活動看護実践Ⅰ	3前		2	1		1	1	1			
	公衆衛生活動看護実践Ⅱ	3前		2	1		1	1	1			1
	公衆衛生看護管理論	4前		1	1							
	基礎看護学実習Ⅰ	2前	1		1	1	1	1	1		4	
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2		1	1	1	1	1		4	
	急性期看護学実習	3後~4前	3				1				4	
	慢性期看護学実習	3後~4前	3		1		1				4	
	母性看護学実習	3後~4前	2		1		1	1	1		0	
	小児看護学実習	3後~4前	2				2				2	
	老年看護学実習Ⅰ	3後~4前	2		1		2				1	
	老年看護学実習Ⅱ	3後~4前	2		1		2				1	
	精神看護学実習	3後~4前	2		1		1	1	1		1	
	在宅看護学実習	3後~4前	2		1	1	1				1	
公衆衛生看護学実習Ⅰ	4後		4	1		1	1					
公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		1	1		1	1					
統合看護実習	4前	2		7	2	12		4	16			
小計(70科目)	-	49	21									
合計	-	79	39									
卒業要件及び履修方法												
「基礎教養科目」で必修15単位、選択必修11単位以上の計26単位、「専門基礎科目」で必修科目28単位、「専門科目」で必修71単位、選択必修3単位以上を修得し合計128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:45単位(年間)) ※公衆衛生看護学及び臨床実習で9科目は保健師教育課程選択者のみ該当する。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ①-②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・ 教員補充の理由により「ヘルスアセスメント」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「基礎看護技術Ⅰ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「基礎看護技術Ⅱ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「看護援助論」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「看護援助演習」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「看護研究方法Ⅱ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「基礎ゼミナール」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「専門ゼミナール」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「基礎看護学実習Ⅰ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「基礎看護学実習Ⅱ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「統合看護実習」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「老年看護援助論」の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「老年看護学実習Ⅰ」の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「老年看護学実習Ⅱ」の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・ 教授学長就任の理由により、「看護研究方法Ⅱ」の配置を「教授10」から「教授9」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「看護研究方法Ⅱ」の配置を「講師7」から「講師8」に追加変更。
- ・ 教授学長就任の理由により、「基礎ゼミナール」の配置を「教授4」から「教授3」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「基礎ゼミナール」の配置を「講師8」から「講師9」に追加変更。
- ・ 教授学長就任の理由により、「専門ゼミナール」の配置を「教授10」から「教授9」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「専門ゼミナール」の配置を「講師8」から「講師9」に追加変更。
- ・ 教員補充の理由により「統合看護実習」の配置を「講師9」から「講師10」に追加変更。
- ・ 教員補充の理由により「予防看護」の配置を「講師1」から「講師2」に追加変更。

【平成29年度】

- ・ 30年度着任の理由により「成人看護援助概論」「慢性期療養生活援助概論」の配置を「教授1」から「教授0」「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」へ変更。
- ・ 教員退職の理由により「急性期看護援助論」の配置を「講師2」を「講師1」に変更。
- ・ 教員就任辞退の理由により「母性看護援助論」の配置を「准教授1」から「准教授0」へ変更し「教授0」から「教授1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「老年看護援助概論」「老年看護援助論」の配置を「教授0」から「教授1」へ変更。
- ・ 平成30年度着任の理由により「29年度開講の「精神看護援助概論」の配置を「教授1」から「教授」、「兼任・兼担0」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 教員就任辞退の理由により「家族看護」の配置を「准教授1」から「准教授0」、教員補充により「教授0」から「教授1」に変更。
- ・ 30年度着任の理由により「予防看護」の配置を「兼担・兼任0」から「兼担・兼任1」に変更。
- ・ 30年度着任の理由により「健康教育Ⅰ」の配置を「兼担・兼任0」から「兼担・兼任1」に変更。
- ・ 教員就任辞退の理由により「看護過程演習」の配置を「准教授4」から准教授3に変更、教員補充により「教授0」から「教授1」に変更。
- ・ 教員就任辞退の理由により「看護研究方法Ⅱ」の配置を「准教授5」から「准教授4」に変更し、教員補充により「教授9」を「教授10」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「基礎ゼミナール」の配置を「教授3」から「教授4」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「専門ゼミナール」の配置を「教授9」を「教授10」に変更。
- ・ 教員退職の理由により「急性期看護学実習」配置を「講師2」から「講師1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・ 教員就任辞退の理由により「統合看護実習」の配置を「准教授5」から「准教授4」に変更し、教員補充により「教授6」を「教授7」に変更。
- ・ 助手補充困難の理由により「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」の「助手16」を「助手6」に変更。不足分を他領域教員で対応。

【平成30年度】

- ・30年度就任の理由により「成人看護援助概論」「慢性期療養生活援助概論」の配置を「教授0」から教授「1」へ変更し「兼任・兼任1」を「兼任・兼任0」に変更。
- ・教育効果向上の理由により「急性期看護援助論」「慢性期療養生活援助論」の「兼任・兼任0」を「兼任・兼任1」に変更。
- ・教員退職の理由により「老年看護援助概論」「老年看護援助論」「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・教員就任辞退の理由により「精神看護援助概論」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更、教員補充により「教授0」を「教授1」に変更。
- ・教員退職の理由により「慢性期療養生活援助論」「ターミナルケア論」「慢性期看護学実習」の配置を「准教授1」から「准教授0」へ変更。
- ・教員退職の理由により「看護過程演習」の配置を「准教授3」から「准教授1」へ変更。
- ・教員退職の理由により「専門ゼミナール」「看護研究方法Ⅱ」の配置を「准教授4」から「准教授2」へ変更。
- ・担当辞退の理由により「感染看護」「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更、「助教0」を「助教1」に変更。
- ・教員補充の理由により「予防看護」の配置を「教授6」から「教授7」に変更。
- ・教員補充の理由により「認知症看護」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」、「教授0」から「教授1」に変更。
- ・教員補充の理由により「健康教育Ⅰ」の配置を「教授0」から「教授1」に、「助教0」を「助教1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により「健康教育Ⅱ」の配置に「兼任・兼任1」を追加変更。
- ・教員退職の理由により「看護過程演習」の配置を「准教授3」から「准教授1」へ変更。教員補充により「講師6」を「講師8」に変更。
- ・教員退職の理由により「看護研究方法Ⅱ」の配置を「准教授4」から「准教授2」へ変更。教員補充により「講師8」を「講師10」に変更。
- ・教員補充の理由により「基礎ゼミナール」「専門ゼミナール」の配置を「講師9」から「講師10」に変更。
- ・教育効果向上の理由により「公衆衛生活動看護実践論Ⅱ」の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教員補充の理由により「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
- ・教員退職の理由により「統合看護実習」の教員配置を「准教授4」から「准教授2」に変更。教員補充により「講師10」から「講師11」に変更。
- ・教育効果向上の理由により保健師科目の「公衆衛生看護学概論Ⅱ」の配当年次を「4年前期」から「3年前期」に変更。
- ・教育効果向上の理由により保健師科目の「地域ケアシステム論」の配当年次を「3年前期」から「4年前期」に変更。
- ・教育効果向上の理由により保健師科目の「公衆衛生看護援助論」の配当年次を「3年前期」から「4年前期」に変更。
- ・教育効果向上の理由により保健師科目の「公衆衛生活動看護実践論Ⅱ」の配当年次を「4年前期」から「3年前期」に変更。
- ・教育効果向上の理由により「公衆衛生看護援助論」の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により「公衆衛生活動看護実践論Ⅰ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教員補充及び教育効果向上の理由により「基礎ゼミナール」の配置を「講師10」から「講師12」に変更。
- ・教員補充及び教育効果向上の理由により「専門ゼミナール」の配置を「講師10」から「講師12」に変更。
- ・教員補充及び教育効果向上の理由により「看護研究方法Ⅱ」の配置を「講師10」から「講師12」に変更。
- ・教員補充の理由により「慢性期療養生活援助論」の配置を「講師0」から「講師1」へ変更。
- ・教員補充の理由により「看護過程演習」の配置を「講師8」から「講師1」へ変更。
- ・教員補充の理由により「慢性期看護学実習」の配置を「講師0」から「講師1」へ変更。
- ・教員補充の理由により「統合看護実習」の配置を「講師11」から「講師12」へ変更。
- ・助手退職の理由により「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」の配置を「助手6」から「助手4」へ変更。不足分を他領域教員で対応。
- ・助手補充困難の理由により「母性看護学実習」の配置「助手1」を「助手0」に変更、「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の配置「助手3」を「助手1」に変更、「精神看護学実習」の配置「助手2」を「助手1」に変更、「在宅看護学実習」の配置「助手2」を「助手1」に変更。

【令和元年度】

- ・教員補充の理由により「急性期看護援助論」の配置「講師1」を「講師2」に変更、「兼任・兼任1」を「兼任・兼任0」に変更。
- ・教員補充の理由により「慢性期療養生活援助論」の配置「兼任・兼任1」を「兼任・兼任0」に変更。
- ・教育効果向上の理由により「ターミナルケア論」の配置を「兼任・兼任0」を「兼任・兼任1」に変更。
- ・教員退職の理由により「老年看護援助論」「予防看護」「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
- ・教員退職の理由により「精神看護援助論」「精神看護学実習」の配置を「助手1」から「助手0」に変更。
- ・教員退職の理由により「看護過程演習」の配置を「講師8」から「講師7」へ、「助教2」から「助教1」へ変更。
- ・教員退職の理由により「基礎ゼミナール」「専門ゼミナール」「看護研究方法Ⅱ」「統合看護実習」の配置を「助教4」から「助教3」へ変更。
- ・助手退職の理由により「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」の配置を「助手4」から「助手3」へ変更。
- ・助手補充困難の理由により「統合看護実習」の配置「助手16」を「助手13」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
79 科目	39 科目	0 科目	118 科目	79 科目	39 科目	0 科目	118 科目	
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎 教養 科目	生活美学	1前	2							1	
	言語と表現	1後	2							1	
	家族社会学	2前	2							1	
	教育学	1後	1							1	
	音楽	2前	1							1	
	哲学	2後	2							1	
	心理学	1後	1							1	
	国際文化論	1前	1							1	
	食文化論	1前	1							1	
	生命倫理	1後	1							1	
	日本国憲法	1前	2							1	
	ジェンダー論	1前	2							1	
	暮らしと経済	1前	2							1	
	生物学	1前	2							1	
	物理	1後	2							1	
	化学	1後	1							1	
	情報科学	1前	1							1	
	統計学	2前	1							1	
	コミュニケーション英語Ⅰ	1後	2							1	
	コミュニケーション英語Ⅱ	2前	2							1	
	総合英語	1前	2							1	
	臨床応用英語	3前	1							1	
	英語文献購読	4後	1							1	
	中国語	1前	1							1	
フランス語	1前	1							1		
手話	1後	1							1		
コミュニケーション論	1後	1							1		
カウンセリング論	1後	1							1		
健康運動スポーツ科学論	1前	1							1		
健康運動スポーツ実技	1後	1							1		
小計(30科目)	-	12	18								
専門 基礎 科目	人体解剖学	1前	1			1					
	人体組織学	1前	1			1					
	人体生理学	1後	2			1					
	生化学	1後	2							1	
	病理学	1後	2			1					
	免疫学	1後	2			1					
	薬理学	2前	2			1					
	病態治療学Ⅰ	1後	2			1					
	病態治療学Ⅱ	2前	2							4	
	病態治療学Ⅲ	2後	1							6	
	病態生理学	2前	1			1					
	臨床検査医学	2後	1			1					
	臨床栄養学	2前	2			1					
	公衆衛生学	2後	1			1					
国際保健環境学	3前	1			1						
疫学	2後	2			1						
保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1			1						
保健医療福祉行政論Ⅱ	3前	2			1						
小計(18科目)	-	18									

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎 教養 科目	生活美学	1前	2							1	
	言語と表現	1後	2							1	
	家族社会学	2前	2							1	
	教育学	1後	1							1	
	音楽	2前	1							1	
	哲学	2後	2							1	
	心理学	1後	1							1	
	国際文化論	1前	1							1	
	食文化論	1前	1							1	
	生命倫理	1後	1							1	
	日本国憲法	1前	2							1	
	ジェンダー論	1前	2							1	
	暮らしと経済	1前	2							1	
	生物学	1前	2							1	
	物理	1後	2							1	
	化学	1後	1							1	
	情報科学	1前	1							1	
	統計学	2前	1							1	
	コミュニケーション英語Ⅰ	1後	2							1	
	コミュニケーション英語Ⅱ	2前	2							1	
	総合英語	1前	2							1	
	臨床応用英語	3前	1							1	
	英語文献購読	4後	1							1	
	中国語	1前	1							1	
フランス語	1前	1							1		
手話	1後	1							1		
コミュニケーション論	1後	1							1		
カウンセリング論	1後	1							1		
健康運動スポーツ科学論	1前	1							1		
健康運動スポーツ実技	1後	1							1		
小計(30科目)	-	12	18								
専門 基礎 科目	人体解剖学	1前	1			1					
	人体組織学	1前	1			1					
	人体生理学	1後	2			1					
	生化学	1後	2							1	
	病理学	1後	2			1					
	免疫学	1後	2			1					
	薬理学	2前	2			1					
	病態治療学Ⅰ	1後	2			1					
	病態治療学Ⅱ	2前	2							4	
	病態治療学Ⅲ	2後	1							6	
	病態生理学	2前	1			1					
	臨床検査医学	2後	1			1					
	臨床栄養学	2前	2			1					
	公衆衛生学	2後	1			1					
国際保健環境学	3前	1			1						
疫学	2後	2			1						
保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1			1						
保健医療福祉行政論Ⅱ	3前	2			1						
小計(18科目)	-	18									

地域ケアシステム論	3前		1		1	1														
公衆衛生看護援助論	3前		2			1	1													
公衆衛生活動看護実践論Ⅰ	3前		2		1		1													
公衆衛生活動看護実践論Ⅱ	4前		2		1		1	1												
公衆衛生看護管理論	4前		1		1															
基礎看護学実習Ⅰ	2前	1			1	1	1													16
基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			1	1	1													16
急性期看護学実習	3後~4前	3					2													4
慢性期看護学実習	3後~4前	3			1	1														4
母性看護学実習	3後~4前	2			1	1	1	1	1											1
小児看護学実習	3後~4前	2					2													2
老年看護学実習Ⅰ	3後~4前	2				1														3
老年看護学実習Ⅱ	3後~4前	2				1														3
精神看護学実習	3後~4前	2			1		1	1	1											2
在宅看護学実習	3後~4前	2			1	1	1	1												2
公衆衛生看護学実習Ⅰ	4後		4		1		1	1	1											
公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		1		1		1	1	1											
統合看護実習	4前	2			6	5	9	3	16											
小計(70科目)	-	49	21																	
合計	-	79	39																	
卒業要件及び履修方法																				
「基礎教養科目」で必修15単位、選択必修11単位以上の計26単位、「専門基礎科目」で必修科目28単位、「専門科目」で必修71単位、選択必修3単位以上を修得し合計128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:45単位(年間)) ※公衆衛生看護学及び臨地実習で9科目は保健師教育課程選択者のみ該当する。																				

地域ケアシステム論	4前		1		1	1														
公衆衛生看護援助論	4前		2		1		1	1												
公衆衛生活動看護実践論Ⅰ	3前		2		1		1	1												
公衆衛生活動看護実践論Ⅱ	3前		2		1		1	1												1
公衆衛生看護管理論	4前		1		1															
基礎看護学実習Ⅰ	2前	1			1	1	1	1	1											3
基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			1	1	1	1	1											3
急性期看護学実習	3後~4前	3					2													4
慢性期看護学実習	3後~4前	3			1	1														4
母性看護学実習	3後~4前	2			1	1	1	1	1											1
小児看護学実習	3後~4前	2					2													2
老年看護学実習Ⅰ	3後~4前	2				1														1
老年看護学実習Ⅱ	3後~4前	2				1														1
精神看護学実習	3後~4前	2			1		1	1												1
在宅看護学実習	3後~4前	2			1	1	1	1												1
公衆衛生看護学実習Ⅰ	4後		4		1		1	1	1											
公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		1		1		1	1	1											
統合看護実習	4前	2			7	2	11	3	13											
小計(70科目)	-	49	21																	
合計	-	79	39																	
卒業要件及び履修方法																				
「基礎教養科目」で必修15単位、選択必修11単位以上の計26単位、「専門基礎科目」で必修科目28単位、「専門科目」で必修71単位、選択必修3単位以上を修得し合計128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:45単位(年間)) ※公衆衛生看護学及び臨地実習で9科目は保健師教育課程選択者のみ該当する。																				

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎 教養 科目	生活美学	1前		2							1
	言語と表現	1後		2							1
	家族社会学	2前		2							1
	教育学	1後		1							1
	音楽	2前		1							1
	哲学	2後		2							1
	心理学	1後	1								1
	国際文化論	1前	1								1
	食文化論	1前	1								1
	生命倫理	1後	1								1
	日本国憲法	1前		2							1
	ジェンダー論	1前		2							1
	暮らしと経済	1前		2							1
	生物学	1前		2							1
	物理	1後		2							1
	化学	1後	1								1
	情報科学	1前	1								1
	統計学	2前	1								1
	コミュニケーション英語Ⅰ	1後	2								1
	コミュニケーション英語Ⅱ	2前	2								1
総合英語	1前	2								1	
臨床応用英語	3前		1							1	
英語文献購読	4後		1							1	
中国語	1前		1							1	
フランス語	1前		1							1	
手話	1後		1							1	
コミュニケーション論	1後	1								1	
カウンセリング論	1後	1								1	
健康運動スポーツ科学論	1前		1							1	
健康運動スポーツ実技	1後		1							1	
小計(30科目)	-	12	18								
専門 基礎 科目	人体解剖学	1前	1			1					
	人体組織学	1前	1			1					
	人体生理学	1後	2			1					1
	生化学	1後	2								
	病理学	1後	2			1					
	免疫学	1後	2			1					
	薬理学	2前	2			1					
	病態治療学Ⅰ	1後	2			1					
	病態治療学Ⅱ	2前	2								4
	病態治療学Ⅲ	2後	1								6
	病態生理学	2前	1			1					
	臨床検査医学	2後	1			1					
	臨床栄養学	2前	2			1					
	公衆衛生学	2後	1			1					
	国際保健環境学	3前	1			1					
疫学	2後	2			1						
保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1			1						
保健医療福祉行政論Ⅱ	3前	2			1						
小計(18科目)	-	18									

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎 教養 科目	生活美学	1前		2							1
	言語と表現	1後		2							1
	家族社会学	2前		2							1
	教育学	1後		1							1
	音楽	2前		1							1
	哲学	2後		2							1
	心理学	1後	1								1
	国際文化論	1前	1								1
	食文化論	1前	1								1
	生命倫理	1後	1								1
	日本国憲法	1前		2							1
	ジェンダー論	1前		2							1
	暮らしと経済	1前		2							1
	生物学	1前		2							1
	物理	1後		2							1
	化学	1後	1								1
	情報科学	1前	1								1
	統計学	2前	1								1
	コミュニケーション英語Ⅰ	1後	2								1
	コミュニケーション英語Ⅱ	2前	2								1
総合英語	1前	2								1	
臨床応用英語	3前		1							1	
英語文献購読	4後		1							1	
中国語	1前		1							1	
フランス語	1前		1							1	
手話	1後		1							1	
コミュニケーション論	1後	1								1	
カウンセリング論	1後	1								1	
健康運動スポーツ科学論	1前		1							1	
健康運動スポーツ実技	1後		1							1	
小計(30科目)	-	12	18								
専門 基礎 科目	人体解剖学	1前	1			1					
	人体組織学	1前	1			1					
	人体生理学	1後	2			1					1
	生化学	1後	2								
	病理学	1後	2			1					
	免疫学	1後	2			1					
	薬理学	2前	2			1					
	病態治療学Ⅰ	1後	2			1					
	病態治療学Ⅱ	2前	2								4
	病態治療学Ⅲ	2後	1								6
	病態生理学	2前	1			1					
	臨床検査医学	2後	1			1					
	臨床栄養学	2前	2			1					
	公衆衛生学	2後	1			1					
	国際保健環境学	3前	1			1					
疫学	2後	2			1						
保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1			1						
保健医療福祉行政論Ⅱ	3前	2			1						
小計(18科目)	-	18									

専門科目	地域看護診断論	2後	2			1	1		
	地域ケアシステム論	3前	1	1		1	1		
	公衆衛生看護援助論	3前	2			1	1		
	公衆衛生活動看護実践論Ⅰ	3前	2	1		1			
	公衆衛生活動看護実践論Ⅱ	4前	2	1		1	1		
	公衆衛生看護管理論	4前	1	1					
	基礎看護学実習Ⅰ	2前	1		1	1	1	1	16
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2		1	1	1	1	16
	急性期看護学実習	3後～4前	3			2			4
	慢性期看護学実習	3後～4前	3		1	1			4
	母性看護学実習	3後～4前	2		1	1	1	1	1
	小児看護学実習	3後～4前	2			2			2
	老年看護学実習Ⅰ	3後～4前	2		1	1			3
	老年看護学実習Ⅱ	3後～4前	2		1	1			3
	精神看護学実習	3後～4前	2		1	1	1	1	2
	在宅看護学実習	3後～4前	2		1	1	1	1	2
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4後	4		1	1	1	1	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後	1		1	1	1	1	
	統合看護実習	4前	2		6	5	10	4	16
小計(70科目)	-	49	21						
合計	-	79	39						
卒業要件及び履修方法									
「基礎教養科目」で必修15単位、選択必修11単位以上の計26単位、「専門基礎科目」で必修科目28単位、「専門科目」で必修71単位、選択必修3単位以上を修得し合計128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:45単位(年間)) ※公衆衛生看護学及び臨床実習で9科目は保健師教育課程選択者のみ該当する。									

専門科目	地域看護診断論	2後	2			1	1		
	地域ケアシステム論	3前	1	1		1	1		
	公衆衛生看護援助論	3前	2			1	1		
	公衆衛生活動看護実践論Ⅰ	3前	2	1		1			
	公衆衛生活動看護実践論Ⅱ	4前	2	1		1	1		
	公衆衛生看護管理論	4前	1	1					
	基礎看護学実習Ⅰ	2前	1		1	1	1	1	6
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2		1	1	1	1	6
	急性期看護学実習	3後～4前	3			2			4
	慢性期看護学実習	3後～4前	3		1	1			4
	母性看護学実習	3後～4前	2		1	1	1	1	1
	小児看護学実習	3後～4前	2			2			2
	老年看護学実習Ⅰ	3後～4前	2		1	1			3
	老年看護学実習Ⅱ	3後～4前	2		1	1			3
	精神看護学実習	3後～4前	2		1	1	1	1	2
	在宅看護学実習	3後～4前	2		1	1	1	1	2
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4後	4		1	1	1	1	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後	1		1	1	1	1	
	統合看護実習	4前	2		7	4	10	4	16
小計(70科目)	-	49	21						
合計	-	79	39						
卒業要件及び履修方法									
「基礎教養科目」で必修15単位、選択必修11単位以上の計26単位、「専門基礎科目」で必修科目28単位、「専門科目」で必修71単位、選択必修3単位以上を修得し合計128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:45単位(年間)) ※公衆衛生看護学及び臨床実習で9科目は保健師教育課程選択者のみ該当する。									

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
基礎教養科目	生活美学	1前		2							1
	言語と表現	1後		2							1
	家族社会学	2前		2							1
	教育学	1後		1							1
	音楽	2前		1							1
	哲学	2後		2							1
	心理学	1後	1								1
	国際文化論	1前	1								1
	食文化論	1前	1								1
	生命倫理	1後	1								1
	日本国憲法	1前		2							1
	ジェンダー論	1前		2							1
	暮らしと経済	1前		2							1
	生物学	1前		2							1
	物理	1後		2							1
	化学	1後	1								1
	情報科学	1前	1								1
	統計学	2前	1								1
	コミュニケーション英語Ⅰ	1後	2								1
	コミュニケーション英語Ⅱ	2前	2								1
総合英語	1前	2								1	
臨床応用英語	3前		1							1	
英語文献購読	4後		1							1	
中国語	1前		1							1	
フランス語	1前		1							1	
手話	1後		1							1	
コミュニケーション論	1後	1								1	

	カウンセリング論	1後	1							1
	健康運動スポーツ科学論	1前		1						1
	健康運動スポーツ実技	1後		1						1
	小計(30科目)	-	12	18						
専門基礎科目	人体解剖学	1前	1		1					
	人体組織学	1前	1		1					
	人体生理学	1後	2		1					
	生化学	1後	2							1
	病理学	1後	2		1					
	免疫学	1後	2		1					
	薬理学	2前	2		1					
	病態治療学Ⅰ	1後	2		1					
	病態治療学Ⅱ	2前	2							4
	病態治療学Ⅲ	2後	1							6
	病態生理学	2前	1		1					
	臨床検査医学	2後	1		1					
	臨床栄養学	2前	2		1					
	公衆衛生学	2後	1		1					
	国際保健環境学	3前	1		1					
	疫学	2後	2		1					
	保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1		1					
	保健医療福祉行政論Ⅱ	3前	2		1					
小計(18科目)	-	18								
専門科目	看護学概論Ⅰ	1前	1		1					
	看護学概論Ⅱ	2前	1		1					
	ヘルスアセスメント	2前	2		1	1	1	1		
	基礎看護援助技術Ⅰ	1後	2		1	1	1	1		
	基礎看護援助技術Ⅱ	2前	2		1	1	1	1		
	看護援助論	2後	1		1	1	1	1		
	看護援助演習	2後	1		1	1	1	1		
	成人看護援助概論	2前	1		1					
	急性期看護援助概論	2後	1		1					
	急性期看護援助論	3前	2				1			1
	慢性期療養生活援助概論	2後	1		1					
	慢性期療養生活援助論	3前	2		1		1			1
	ターミナルケア論	4後		1			1			
	リハビリテーション論	2前		1			1			2
	クリティカルケア論	2後		1						1
	がん看護	3前		1						1
	母性看護援助概論	2後	1		1					
	母性看護援助論	3前	2		1		1	1		
	小児看護援助概論	2後	1		1					
	小児看護援助論	3前	2		1		2			
	老年看護援助概論	2後	1		1					
	老年看護援助論	3前	2		1		1			
	精神看護援助概論	2前	1		1					
	精神看護援助論	3前	2		1		1	1		
	在宅看護援助概論	2前	1		1					
	在宅看護援助論	3前	2		1	1	1			
	学校看護	2後		1			1			
	災害看護	4後		1						1
	国際看護	3前		1						2
	健康危機管理論	4後		1						2
	人間工学	2後		1						1
	特別講義	4後		1		1				
	家族看護	3前		1		3	1			
	生涯発達論	1後		1						1
	予防看護	2前	1			7		2		
	感染看護	2前	1						1	1
	チームケア論	2前	1			1		1		2
	栄養ケア論	2後	1			1				1

1	認知症看護	2後	1					1											
	健康教育学Ⅰ	2後	1			1					1	1							1
	健康教育学Ⅱ	3前	1			1				1	1								1
	看護過程演習	3前	1			1	1			9	2								
	看護管理論	3前	1			1													
	保健統計学Ⅰ	2後	1			1													
	保健統計学Ⅱ	3前	1			1													
	看護研究方法Ⅰ	3後	1			1													
	看護研究方法Ⅱ	4通	1			10	2		12	3									
	基礎ゼミナール	1前	1			4	1		12	4									
	専門ゼミナール	3後	1			10	2		12	3									
	公衆衛生看護学概論Ⅰ	2前	1			1													
	公衆衛生看護学概論Ⅱ	3前	1			1													
	地域看護診断論	2後	2							1	1								
	地域ケアシステム論	4前	1			1				1	1								
	公衆衛生看護援助論	4前	2			1				1	1								
	公衆衛生活動看護実践論Ⅰ	3前	2			1				1	1								
	公衆衛生活動看護実践論Ⅱ	3前	2			1				1	1								1
	公衆衛生看護管理論	4前	1			1													
	基礎看護学実習Ⅰ	2前	1			1	1		1	1	1								4
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			1	1		1	1	1								4
	急性期看護学実習	3後~4前	3							1									4
	慢性期看護学実習	3後~4前	3			1				1									4
	母性看護学実習	3後~4前	2			1				1	1								0
	小児看護学実習	3後~4前	2							2									2
	老年看護学実習Ⅰ	3後~4前	2			1				2									1
	老年看護学実習Ⅱ	3後~4前	2			1				2									1
	精神看護学実習	3後~4前	2			1				1	1								1
	在宅看護学実習	3後~4前	2			1	1			1									1
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4後	4			1				1	1								
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後	1			1				1	1								
	統合看護実習	4前	2			7	2		12	4	16								
	小計(70科目)	-	49	21															
	合計	-	79	39															
卒業要件及び履修方法																			
「基礎教養科目」で必修15単位、選択必修11単位以上の計26単位、「専門基礎科目」で必修科目28単位、「専門科目」で必修71単位、選択必修3単位以上を修得し合計128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:45単位(年間))																			
※公衆衛生看護学及び臨地実習で9科目は保健師教育課程選択者のみ該当する。																			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・ 教員補充の理由により「ヘルスアセスメント」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「基礎看護技術Ⅰ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「基礎看護技術Ⅱ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「看護援助論」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「看護援助演習」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「看護研究方法Ⅱ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「基礎ゼミナール」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「専門ゼミナール」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「基礎看護学実習Ⅰ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「基礎看護学実習Ⅱ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「統合看護実習」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「老年看護援助論」の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「老年看護学実習Ⅰ」の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「老年看護学実習Ⅱ」の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・ 教授学長就任の理由により、「看護研究方法Ⅱ」の配置を「教授10」から「教授9」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「看護研究方法Ⅱ」の配置を「講師7」から「講師8」に追加変更。
- ・ 教授学長就任の理由により、「基礎ゼミナール」の配置を「教授4」から「教授3」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「基礎ゼミナール」の配置を「講師8」から「講師9」に追加変更。
- ・ 教授学長就任の理由により、「専門ゼミナール」の配置を「教授10」から「教授9」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「専門ゼミナール」の配置を「講師8」から「講師9」に追加変更。
- ・ 教員補充の理由により「統合看護実習」の配置を「講師9」から「講師10」に追加変更。
- ・ 教員補充の理由により「予防看護」の配置を「講師1」から「講師2」に追加変更。

【平成29年度】

- ・ 30年度着任の理由により「成人看護援助概論」「慢性期療養生活援助概論」の配置を「教授1」から「教授0」「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」へ変更。
- ・ 教員退職の理由により「急性期看護援助論」の配置を「講師2」を「講師1」に変更。
- ・ 教員就任辞退の理由により「母性看護援助論」の配置を「准教授1」から「准教授0」へ変更し「教授0」から「教授1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「老年看護援助概論」「老年看護援助論」の配置を「教授0」から「教授1」へ変更。
- ・ 平成30年度着任の理由により「29年度開講の「精神看護援助概論」の配置を「教授1」から「教授」「兼任・兼担0」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 教員就任辞退の理由により「家族看護」の配置を「准教授1」から「准教授0」、教員補充により「教授0」から「教授1」に変更。
- ・ 30年度着任の理由により「予防看護」の配置を「兼担・兼任0」から「兼担・兼任1」に変更。
- ・ 30年度着任の理由により「健康教育Ⅰ」の配置を「兼担・兼任0」から「兼担・兼任1」に変更。
- ・ 教員就任辞退の理由により「看護過程演習」の配置を「准教授4」から「准教授3」に変更、教員補充により「教授0」から「教授1」に変更。
- ・ 教員就任辞退の理由により「看護研究方法Ⅱ」の配置を「准教授5」から「准教授4」に変更し、教員補充により「教授9」を「教授10」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「基礎ゼミナール」の配置を「教授3」から「教授4」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「専門ゼミナール」の配置を「教授9」を「教授10」に変更。
- ・ 教員退職の理由により「急性期看護学実習」配置を「講師2」から「講師1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・ 教員就任辞退の理由により「統合看護実習」の配置を「准教授5」から「准教授4」に変更し、教員補充により「教授6」を「教授7」に変更。
- ・ 助手補充困難の理由により「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」の「助手16」を「助手6」に変更。不足分を他領域教員で対応。

【平成30年度】

- ・30年度就任の理由により「成人看護援助概論」「慢性期療養生活援助概論」の配置を「教授0」から教授「1」へ変更し「兼任・兼任1」を「兼任・兼任0」に変更。
- ・教育効果向上の理由により「急性期看護援助論」「慢性期療養生活援助論」の「兼任・兼任0」を「兼任・兼任1」に変更。
- ・教員退職の理由により「老年看護援助概論」「老年看護援助論」「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・教員就任辞退の理由により「精神看護援助概論」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更、教員補充により「教授0」を「教授1」に変更。
- ・教員退職の理由により「慢性期療養生活援助論」「ターミナルケア論」「慢性期看護学実習」の配置を「准教授1」から「准教授0」へ変更。
- ・教員退職の理由により「看護過程演習」の配置を「准教授3」から「准教授1」へ変更。
- ・教員退職の理由により「専門ゼミナール」「看護研究方法Ⅱ」の配置を「准教授4」から「准教授2」へ変更。
- ・担当辞退の理由により「感染看護」「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更、「助教0」を「助教1」に変更。
- ・教員補充の理由により「予防看護」の配置を「教授6」から「教授7」に変更。
- ・教員補充の理由により「認知症看護」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」、「教授0」から「教授1」に変更。
- ・教員補充の理由により「健康教育Ⅰ」の配置を「教授0」から「教授1」に、「助教0」を「助教1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により「健康教育Ⅱ」の配置に「兼任・兼任1」を追加変更。
- ・教員退職の理由により「看護過程演習」の配置を「准教授3」から「准教授1」へ変更。教員補充により「講師6」を「講師8」に変更。
- ・教員退職の理由により「看護研究方法Ⅱ」の配置を「准教授4」から「准教授2」へ変更。教員補充により「講師8」を「講師10」に変更。
- ・教員補充の理由により「基礎ゼミナール」「専門ゼミナール」の配置を「講師9」から「講師10」に変更。
- ・教育効果向上の理由により「公衆衛生活動看護実践論Ⅱ」の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教員補充の理由により「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
- ・教員退職の理由により「統合看護実習」の教員配置を「准教授4」から「准教授2」に変更。教員補充により「講師10」から「講師11」に変更。
- ・教育効果向上の理由により保健師科目の「公衆衛生看護学概論Ⅱ」の配当年次を「4年前期」から「3年前期」に変更。
- ・教育効果向上の理由により保健師科目の「地域ケアシステム論」の配当年次を「3年前期」から「4年前期」に変更。
- ・教育効果向上の理由により保健師科目の「公衆衛生看護援助論」の配当年次を「3年前期」から「4年前期」に変更。
- ・教育効果向上の理由により保健師科目の「公衆衛生活動看護実践論Ⅱ」の配当年次を「4年前期」から「3年前期」に変更。
- ・教育効果向上の理由により「公衆衛生看護援助論」の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により「公衆衛生活動看護実践論Ⅰ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教員補充及び教育効果向上の理由により「基礎ゼミナール」の配置を「講師10」から「講師12」に変更。
- ・教員補充及び教育効果向上の理由により「専門ゼミナール」の配置を「講師10」から「講師12」に変更。
- ・教員補充及び教育効果向上の理由により「看護研究方法Ⅱ」の配置を「講師10」から「講師12」に変更。
- ・教員補充の理由により「慢性期療養生活援助論」の配置を「講師0」から「講師1」へ変更。
- ・教員補充の理由により「看護過程演習」の配置を「講師8」から「講師1」へ変更。
- ・教員補充の理由により「慢性期看護学実習」の配置を「講師0」から「講師1」へ変更。
- ・教員補充の理由により「統合看護実習」の配置を「講師11」から「講師12」へ変更。
- ・助手退職の理由により「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」の配置を「助手6」から「助手4」へ変更。不足分を他領域教員で対応。
- ・助手補充困難の理由により「母性看護学実習」の配置「助手1」を「助手0」に変更、「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の配置「助手3」を「助手1」に変更、「精神看護学実習」の配置「助手2」を「助手1」に変更、「在宅看護学実習」の配置「助手2」を「助手1」に変更。

【令和元年度】

- ・教員補充の理由により「急性期看護援助論」の配置「講師1」を「講師2」に変更、「兼任・兼任1」を「兼任・兼任0」に変更。
- ・教員補充の理由により「慢性期療養生活援助論」の配置「兼任・兼任1」を「兼任・兼任0」に変更。
- ・教育効果向上の理由により「ターミナルケア論」の配置を「兼任・兼任0」を「兼任・兼任1」に変更。
- ・教員退職の理由により「老年看護援助論」「予防看護」「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
- ・教員退職の理由により「精神看護援助論」「精神看護学実習」の配置を「助手1」から「助手0」に変更。
- ・教員退職の理由により「看護過程演習」の配置を「講師8」から「講師7」へ、「助教2」から「助教1」へ変更。
- ・教員退職の理由により「基礎ゼミナール」「専門ゼミナール」「看護研究方法Ⅱ」「統合看護実習」の配置を「助教4」から「助教3」へ変更。
- ・助手退職の理由により「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」の配置を「助手4」から「助手3」へ変更。
- ・助手補充困難の理由により「統合看護実習」の配置「助手16」を「助手13」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
79 科目	39 科目	0 科目	118 科目	79 科目	39 科目	0 科目	118 科目	
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎 教養 科目	生活美学	1前		2							1
	言語と表現	1後		2							1
	家族社会学	2前		2							1
	教育学	1後		1							1
	音楽	2前		1							1
	哲学	2後		2							1
	心理学	1後	1								1
	国際文化論	1前	1								1
	食文化論	1前	1								1
	生命倫理	1後	1								1
	日本国憲法	1前		2							1
	ジェンダー論	1前		2							1
	暮らしと経済	1前		2							1
	生物学	1前		2							1
	物理	1後		2							1
	化学	1後	1								1
	情報科学	1前	1								1
	統計学	2前	1								1
	コミュニケーション英語Ⅰ	1後	2								1
	コミュニケーション英語Ⅱ	2前	2								1
	総合英語	1前	2								1
	臨床応用英語	3前		1							1
	英語文献購読	4後		1							1
中国語	1前		1							1	
フランス語	1前		1							1	
手話	1後		1							1	
コミュニケーション論	1後	1								1	
カウンセリング論	1後	1								1	
健康運動スポーツ科学論	1前		1							1	
健康運動スポーツ実技	1後		1							1	
小計(30科目)	-		12	18							
専門 基礎 科目	人体解剖学	1前	1			1					
	人体組織学	1前	1			1					
	人体生理学	1後	2			1					
	生化学	1後	2								1
	病理学	1後	2			1					
	免疫学	1後	2			1					
	薬理学	2前	2			1					
	病態治療学Ⅰ	1後	2			1					
	病態治療学Ⅱ	2前	2								4
	病態治療学Ⅲ	2後	1								6
	病態生理学	2前	1			1					
	臨床検査医学	2後	1			1					
	臨床栄養学	2前	2			1					
	公衆衛生学	2後	1			1					
	国際保健環境学	3前	1			1					
疫学	2後	2			1						
保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1			1						
保健医療福祉行政論Ⅱ	3前	2			1						
小計(18科目)	-		18								

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎 教養 科目	生活美学	1前		2							1
	言語と表現	1後		2							1
	家族社会学	2前		2							1
	教育学	1後		1							1
	音楽	2前		1							1
	哲学	2後		2							1
	心理学	1後	1								1
	国際文化論	1前	1								1
	食文化論	1前	1								1
	生命倫理	1後	1								1
	日本国憲法	1前		2							1
	ジェンダー論	1前		2							1
	暮らしと経済	1前		2							1
	生物学	1前		2							1
	物理	1後		2							1
	化学	1後	1								1
	情報科学	1前	1								1
	統計学	2前	1								1
	コミュニケーション英語Ⅰ	1後	2								1
	コミュニケーション英語Ⅱ	2前	2								1
	総合英語	1前	2								1
	臨床応用英語	3前		1							1
	英語文献購読	4後		1							1
中国語	1前		1							1	
フランス語	1前		1							1	
手話	1後		1							1	
コミュニケーション論	1後	1								1	
カウンセリング論	1後	1								1	
健康運動スポーツ科学論	1前		1							1	
健康運動スポーツ実技	1後		1							1	
小計(30科目)	-		12	18							
専門 基礎 科目	人体解剖学	1前	1			1					
	人体組織学	1前	1			1					
	人体生理学	1後	2			1					
	生化学	1後	2								1
	病理学	1後	2			1					
	免疫学	1後	2			1					
	薬理学	2前	2			1					
	病態治療学Ⅰ	1後	2			1					
	病態治療学Ⅱ	2前	2								4
	病態治療学Ⅲ	2後	1								6
	病態生理学	2前	1			1					
	臨床検査医学	2後	1			1					
	臨床栄養学	2前	2			1					
	公衆衛生学	2後	1			1					
	国際保健環境学	3前	1			1					
疫学	2後	2			1						
保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1			1						
保健医療福祉行政論Ⅱ	3前	2			1						
小計(18科目)	-		18								

地域ケアシステム論	3前	1		1		1	1													
公衆衛生看護援助論	3前	2				1	1													
公衆衛生活動看護実践論Ⅰ	3前	2		1		1														
公衆衛生活動看護実践論Ⅱ	4前	2		1		1	1													
公衆衛生看護管理論	4前	1		1																
基礎看護学実習Ⅰ	2前	1		1	1	1									16					
基礎看護学実習Ⅱ	2後	2		1	1	1									16					
急性期看護学実習	3前～4前	3					2								4					
慢性期看護学実習	3前～4前	3		1	1										4					
母性看護学実習	3前～4前	2		1	1	1	1	1							1					
小児看護学実習	3前～4前	2				2									2					
老年看護学実習Ⅰ	3前～4前	2			1										3					
老年看護学実習Ⅱ	3前～4前	2			1										3					
精神看護学実習	3前～4前	2		1		1	1	1							2					
在宅看護学実習	3前～4前	2		1	1	1	1								2					
公衆衛生看護学実習Ⅰ	4後	4		1		1	1	1												
公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後	1		1		1	1	1												
統合看護学実習	4前	2		6	5	9	3	16												
小計(70科目)	-	49	21																	
合計	-	79	39																	
卒業要件及び履修方法																				
「基礎教養科目」で必修15単位、選択必修11単位以上の計26単位、「専門基礎科目」で必修科目28単位、「専門科目」で必修71単位、選択必修3単位以上を修得し合計128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:45単位(年間)) ※公衆衛生看護学及び臨床実習で9科目は保健師教育課程選択者のみ該当する。																				

地域ケアシステム論	4前	1		1		1	1													
公衆衛生看護援助論	4前	2		1		1	1													
公衆衛生活動看護実践論Ⅰ	3前	2		1		1	1													
公衆衛生活動看護実践論Ⅱ	3前	2		1		1	1												1	
公衆衛生看護管理論	4前	1		1																
基礎看護学実習Ⅰ	2前	1		1	1	1									3					
基礎看護学実習Ⅱ	2後	2		1	1	1									3					
急性期看護学実習	3前～4前	3					2								4					
慢性期看護学実習	3前～4前	3		1	1										4					
母性看護学実習	3前～4前	2		1	1	1	1	1							1					
小児看護学実習	3前～4前	2				2									2					
老年看護学実習Ⅰ	3前～4前	2			1										1					
老年看護学実習Ⅱ	3前～4前	2			1										1					
精神看護学実習	3前～4前	2		1		1	1								1					
在宅看護学実習	3前～4前	2		1	1	1	1								1					
公衆衛生看護学実習Ⅰ	4後	4		1		1	1	1												
公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後	1		1		1	1	1												
統合看護学実習	4前	2		7	2	11	3	13												
小計(70科目)	-	49	21																	
合計	-	79	39																	
卒業要件及び履修方法																				
「基礎教養科目」で必修15単位、選択必修11単位以上の計26単位、「専門基礎科目」で必修科目28単位、「専門科目」で必修71単位、選択必修3単位以上を修得し合計128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:45単位(年間)) ※公衆衛生看護学及び臨床実習で9科目は保健師教育課程選択者のみ該当する。																				

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎 教養 科目	生活美学	1前		2							1
	言語と表現	1後		2							1
	家族社会学	2前		2							1
	教育学	1後		1							1
	音楽	2前		1							1
	哲学	2後		2							1
	心理学	1後	1								1
	国際文化論	1前	1								1
	食文化論	1前	1								1
	生命倫理	1後	1								1
	日本国憲法	1前		2							1
	ジェンダー論	1前		2							1
	暮らしと経済	1前		2							1
	生物学	1前		2							1
	物理	1後		2							1
	化学	1後	1								1
	情報科学	1前	1								1
	統計学	2前	1								1
	コミュニケーション英語Ⅰ	1後	2								1
	コミュニケーション英語Ⅱ	2前	2								1
総合英語	1前	2								1	
臨床応用英語	3前		1							1	
英語文献購読	4後		1							1	
中国語	1前		1							1	
フランス語	1前		1							1	
手話	1後		1							1	
コミュニケーション論	1後	1								1	
カウンセリング論	1後	1								1	
健康運動スポーツ科学論	1前		1							1	
健康運動スポーツ実技	1後		1							1	
小計(30科目)	-	12	18								
専門 基礎 科目	人体解剖学	1前	1			1					
	人体組織学	1前	1			1					
	人体生理学	1後	2			1					1
	生化学	1後	2								
	病理学	1後	2			1					
	免疫学	1後	2			1					
	薬理学	2前	2			1					
	病態治療学Ⅰ	1後	2			1					
	病態治療学Ⅱ	2前	2								4
	病態治療学Ⅲ	2後	1								6
	病態生理学	2前	1			1					
	臨床検査医学	2後	1			1					
	臨床栄養学	2前	2			1					
	公衆衛生学	2後	1			1					
	国際保健環境学	3前	1			1					
疫学	2後	2			1						
保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1			1						
保健医療福祉行政論Ⅱ	3前	2			1						
小計(18科目)	-	18									

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎 教養 科目	生活美学	1前		2							1
	言語と表現	1後		2							1
	家族社会学	2前		2							1
	教育学	1後		1							1
	音楽	2前		1							1
	哲学	2後		2							1
	心理学	1後	1								1
	国際文化論	1前	1								1
	食文化論	1前	1								1
	生命倫理	1後	1								1
	日本国憲法	1前		2							1
	ジェンダー論	1前		2							1
	暮らしと経済	1前		2							1
	生物学	1前		2							1
	物理	1後		2							1
	化学	1後	1								1
	情報科学	1前	1								1
	統計学	2前	1								1
	コミュニケーション英語Ⅰ	1後	2								1
	コミュニケーション英語Ⅱ	2前	2								1
総合英語	1前	2								1	
臨床応用英語	3前		1							1	
英語文献購読	4後		1							1	
中国語	1前		1							1	
フランス語	1前		1							1	
手話	1後		1							1	
コミュニケーション論	1後	1								1	
カウンセリング論	1後	1								1	
健康運動スポーツ科学論	1前		1							1	
健康運動スポーツ実技	1後		1							1	
小計(30科目)	-	12	18								
専門 基礎 科目	人体解剖学	1前	1			1					
	人体組織学	1前	1			1					
	人体生理学	1後	2			1					1
	生化学	1後	2								
	病理学	1後	2			1					
	免疫学	1後	2			1					
	薬理学	2前	2			1					
	病態治療学Ⅰ	1後	2			1					
	病態治療学Ⅱ	2前	2								4
	病態治療学Ⅲ	2後	1								6
	病態生理学	2前	1			1					
	臨床検査医学	2後	1			1					
	臨床栄養学	2前	2			1					
	公衆衛生学	2後	1			1					
	国際保健環境学	3前	1			1					
疫学	2後	2			1						
保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1			1						
保健医療福祉行政論Ⅱ	3前	2			1						
小計(18科目)	-	18									

地域看護診断論	2後		2			1	1													
地域ケアシステム論	3前		1		1	1	1													
公衆衛生看護援助論	3前		2			1	1													
公衆衛生活動看護実践論Ⅰ	3前		2		1		1													
公衆衛生活動看護実践論Ⅱ	4前		2		1		1	1												
公衆衛生看護管理論	4前		1		1															
基礎看護学実習Ⅰ	2前	1			1	1	1	1	16											
基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			1	1	1	1	16											
急性期看護学実習	3前～4前	3					2		4											
慢性期看護学実習	3前～4前	3			1	1			4											
母性看護学実習	3前～4前	2			1	1	1	1	1											
小児看護学実習	3前～4前	2					2		2											
老年看護学実習Ⅰ	3前～4前	2				1	1		3											
老年看護学実習Ⅱ	3前～4前	2				1	1		3											
精神看護学実習	3前～4前	2			1		1	1	2											
在宅看護学実習	3前～4前	2			1	1	1	1	2											
公衆衛生看護学実習Ⅰ	4後		4		1		1	1												
公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		1		1		1	1												
統合看護学実習	4前		2			6	5	10	4	16										
小計(70科目)	-		49	21																
合計	-		79	39																
卒業要件及び履修方法																				
「基礎教養科目」で必修15単位、選択必修11単位以上の計26単位、「専門基礎科目」で必修科目28単位、「専門科目」で必修71単位、選択必修3単位以上を修得し合計128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:45単位(年間)) ※公衆衛生看護学及び臨地実習で9科目は保健師教育課程選択者のみ該当する。																				

地域看護診断論	2後		2			1	1													
地域ケアシステム論	3前		1		1	1	1													
公衆衛生看護援助論	3前		2			1	1													
公衆衛生活動看護実践論Ⅰ	3前		2		1		1													
公衆衛生活動看護実践論Ⅱ	4前		2		1		1	1												
公衆衛生看護管理論	4前		1		1															
基礎看護学実習Ⅰ	2前	1			1	1	1	1	6											
基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			1	1	1	1	6											
急性期看護学実習	3前～4前	3					2		4											
慢性期看護学実習	3前～4前	3			1	1			4											
母性看護学実習	3前～4前	2			1	1	1	1	1											
小児看護学実習	3前～4前	2					2		2											
老年看護学実習Ⅰ	3前～4前	2				1	1		3											
老年看護学実習Ⅱ	3前～4前	2				1	1		3											
精神看護学実習	3前～4前	2			1		1	1	2											
在宅看護学実習	3前～4前	2			1	1	1	1	2											
公衆衛生看護学実習Ⅰ	4後		4		1		1	1												
公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		1		1		1	1												
統合看護学実習	4前		2				7	4	10	4	16									
小計(70科目)	-		49	21																
合計	-		79	39																
卒業要件及び履修方法																				
「基礎教養科目」で必修15単位、選択必修11単位以上の計26単位、「専門基礎科目」で必修科目28単位、「専門科目」で必修71単位、選択必修3単位以上を修得し合計128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:45単位(年間)) ※公衆衛生看護学及び臨地実習で9科目は保健師教育課程選択者のみ該当する。																				

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教養科目	生活美学	1前	2								1	
	言語と表現	1後	2								1	
	家族社会学	2前	2								1	
	教育学	1後	1								1	
	音楽	2前	1								1	
	哲学	2後	2								1	
	心理学	1後	1								1	
	国際文化論	1前	1								1	
	食文化論	1前	1								1	
	生命倫理	1後	1								1	
	日本国憲法	1前	2								1	
	ジェンダー論	1前	2								1	
	暮らしと経済	1前	2								1	
	生物学	1前	2								1	
	物理	1後	2								1	
	化学	1後	1								1	
	情報科学	1前	1								1	
	統計学	2前	1								1	
	コミュニケーション英語Ⅰ	1後	2								1	
	コミュニケーション英語Ⅱ	2前	2								1	
	総合英語	1前	2								1	
	臨床応用英語	3前	1								1	
	英語文献購読	4後	1								1	
	中国語	1前	1								1	
	フランス語	1前	1								1	
	手話	1後	1								1	
	コミュニケーション論	1後	1								1	
	カウンセリング論	1後	1								1	
	健康運動スポーツ科学論	1前	1								1	
	健康運動スポーツ実技	1後	1								1	
小計(30科目)	-		12	18								
人体解剖学	1前	1				1						
人体組織学	1前	1				1						
人体生理学	1後	2				1						
生化学	1後	2									1	
病理学	1後	2				1						
免疫学	1後	2				1						
薬理学	2前	2				1						

	公衆衛生看護学概論Ⅰ	2前	1		1							
	公衆衛生看護学概論Ⅱ	3前		1		1						
	地域看護診断論	2後		2				1	1			
	地域ケアシステム論	4前		1		1		1	1			
	公衆衛生看護援助論	4前		2		1		1	1			
専 門 科 目	公衆衛生活動看護実践論Ⅰ	3前		2		1		1	1			
	公衆衛生活動看護実践論Ⅱ	3前		2		1		1	1			1
	公衆衛生看護管理論	4前		1		1						
	基礎看護学実習Ⅰ	2前		1		1	1	1	1			4
	基礎看護学実習Ⅱ	2後		2		1	1	1	1			4
	急性期看護学実習	3後～4前		3				1				4
	慢性期看護学実習	3後～4前		3		1		1				4
	母性看護学実習	3後～4前		2		1		1	1			0
	小児看護学実習	3後～4前		2				2				2
	老年看護学実習Ⅰ	3後～4前		2		1		2				1
	老年看護学実習Ⅱ	3後～4前		2		1		2				1
	精神看護学実習	3後～4前		2		1		1	1			1
	在宅看護学実習	3後～4前		2		1	1	1				1
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4後		4		1		1	1			
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		1		1		1	1			
	統合看護実習	4前		2		7	2	12	4			16
小計(70科目)	-		49	21								
合計	-		79	39								
卒業要件及び履修方法												
「基礎教養科目」で必修15単位、選択必修11単位以上の計26単位、「専門基礎科目」で必修科目28単位、「専門科目」で必修71単位、選択必修3単位以上を修得し合計128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:45単位(年間)) ※公衆衛生看護学及び臨床実習で9科目は保健師教育課程選択者のみ該当する。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名についても「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ①-②授業科目表に関する変更内容

<p>(記入例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員補充の理由により「ヘルスアセスメント」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。 ・ 教員補充の理由により「基礎看護技術Ⅰ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。 ・ 教員補充の理由により「基礎看護技術Ⅱ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。 ・ 教員補充の理由により「看護援助論」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。 ・ 教員補充の理由により「看護援助演習」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。 ・ 教員補充の理由により「看護研究方法Ⅱ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。 ・ 教員補充の理由により「基礎ゼミナール」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。 ・ 教員補充の理由により「専門ゼミナール」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。 ・ 教員補充の理由により「基礎看護学実習Ⅰ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。 ・ 教員補充の理由により「基礎看護学実習Ⅱ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。 ・ 教員補充の理由により「統合看護実習」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。 ・ 教員補充の理由により「老年看護援助論」の配置を「講師0」から「講師1」に変更。 ・ 教員補充の理由により「老年看護学実習Ⅰ」の配置を「講師0」から「講師1」に変更。 ・ 教員補充の理由により「老年看護学実習Ⅱ」の配置を「講師0」から「講師1」に変更。 ・ 教授学長就任の理由により、「看護研究方法Ⅱ」の配置を「教授10」から「教授9」に変更。 ・ 教員補充の理由により「看護研究方法Ⅱ」の配置を「講師7」から「講師8」に追加変更。 ・ 教授学長就任の理由により、「基礎ゼミナール」の配置を「教授4」から「教授3」に変更。 ・ 教員補充の理由により「基礎ゼミナール」の配置を「講師8」から「講師9」に追加変更。 ・ 教授学長就任の理由により、「専門ゼミナール」の配置を「教授10」から「教授9」に変更。 ・ 教員補充の理由により「専門ゼミナール」の配置を「講師8」から「講師9」に追加変更。 ・ 教員補充の理由により「統合看護実習」の配置を「講師9」から「講師10」に追加変更。 ・ 教員補充の理由により「予防看護」の配置を「講師1」から「講師2」に追加変更。

- ・30年度着任の理由により「成人看護援助概論」「慢性期療養生活援助概論」の配置を「教授1」から「教授0」「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」へ変更。
- ・教員退職の理由により「急性期看護援助論」の配置を「講師2」を「講師1」に変更。
- ・教員就任辞退の理由により「母性看護援助論」の配置を「准教授1」から「准教授0」へ変更し「教授0」から「教授1」に変更。
- ・教員補充の理由により「老年看護援助概論」「老年看護援助論」の配置を「教授0」から「教授1」へ変更。
- ・平成30年度着任の理由により「29年度開講の「精神看護援助概論」の配置を「教授1」から「教授」「兼任・兼担0」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・教員就任辞退の理由により「家族看護」の配置を「准教授1」から「准教授0」、教員補充により「教授0」から「教授1」に変更。
- ・30年度着任の理由により「予防看護」の配置を「兼担・兼任0」から「兼担・兼任1」に変更。
- ・30年度着任の理由により「健康教育学Ⅰ」の配置を「兼担・兼任0」から「兼担・兼任1」に変更。
- ・教員就任辞退の理由により「看護過程演習」の配置を「准教授4」から「准教授3」に変更、教員補充により「教授0」から「教授1」に変更。
- ・教員就任辞退の理由により「看護研究方法Ⅱ」の配置を「准教授5」から「准教授4」に変更し、教員補充により「教授9」を「教授10」に変更。
- ・教員補充の理由により「基礎ゼミナール」の配置を「教授3」から「教授4」に変更。
- ・教員補充の理由により「専門ゼミナール」の配置を「教授9」を「教授10」に変更。
- ・教員退職の理由により「急性期看護学実習」配置を「講師2」から「講師1」に変更。
- ・教員補充の理由により「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・教員就任辞退の理由により「統合看護実習」の配置を「准教授5」から「准教授4」に変更し、教員補充により「教授6」を「教授7」に変更。
- ・助手補充困難の理由により「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」の「助手16」を「助手6」に変更。不足分を他領域教員で対

- ・30年度就任の理由により「成人看護援助概論」「慢性期療養生活援助概論」の配置を「教授0」から「教授1」へ変更し「兼任・兼担1」を「兼任・兼任0」に変更。
- ・教育効果向上の理由により「急性期看護援助論」「慢性期療養生活援助論」の「兼任・兼担0」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・教員退職の理由により「老年看護援助概論」「老年看護援助論」「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・教員就任辞退の理由により「精神看護援助概論」の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更、教員補充により「教授0」を「教授1」に変更。
- ・教員退職の理由により「慢性期療養生活援助論」「ターミナルケア論」「慢性期看護学実習」の配置を「准教授1」から「准教授0」へ変更。
- ・教員退職の理由により「看護過程演習」の配置を「准教授3」から「准教授1」へ変更。
- ・教員退職の理由により「専門ゼミナール」「看護研究方法Ⅱ」の配置を「准教授4」から「准教授2」へ変更。
- ・担当辞退の理由により「感染看護」「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更、「助教0」を「助教1」に変更。
- ・教員補充の理由により「予防看護」の配置を「教授6」から「教授7」に変更。
- ・教員補充の理由により「認知症看護」の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」、「教授0」から「教授1」に変更。
- ・教員補充の理由により「健康教育学Ⅰ」の配置を「教授0」から「教授1」に、「助教0」を「助教1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により「健康教育学Ⅱ」の配置に「兼任・兼担1」を追加変更。
- ・教員退職の理由により「看護過程演習」の配置を「准教授3」から「准教授1」へ変更。教員補充により「講師6」を「講師8」に変更。
- ・教員退職の理由により「看護研究方法Ⅱ」の配置を「准教授4」から「准教授2」へ変更。教員補充により「講師8」を「講師10」に変更。
- ・教員補充の理由により「基礎ゼミナール」「専門ゼミナール」の配置を「講師9」から「講師10」に変更。
- ・教育効果向上の理由により「公衆衛生活動看護実践論Ⅱ」の配置を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・教員補充の理由により「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
- ・教員退職の理由により「統合看護実習」の教員配置を「准教授4」から「准教授2」に変更。教員補充により「講師10」から「講師11」に変更。
- ・教育効果向上の理由により保健師科目の「公衆衛生看護学概論Ⅱ」の配当年次を「4年前期」から「3年前期」に変更。
- ・教育効果向上の理由により保健師科目の「地域ケアシステム論」の配当年次を「3年前期」から「4年前期」に変更。
- ・教育効果向上の理由により保健師科目の「公衆衛生看護援助論」の配当年次を「3年前期」から「4年前期」に変更。
- ・教育効果向上の理由により保健師科目の「公衆衛生活動看護実践論Ⅱ」の配当年次を「4年前期」から「3年前期」に変更。
- ・教育効果向上の理由により「公衆衛生看護援助論」の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により「公衆衛生活動看護実践論Ⅰ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教員補充及び教育効果向上の理由により「基礎ゼミナール」の配置を「講師10」から「講師12」に変更。
- ・教員補充及び教育効果向上の理由により「専門ゼミナール」の配置を「講師10」から「講師12」に変更。
- ・教員補充及び教育効果向上の理由により「看護研究方法Ⅱ」の配置を「講師10」から「講師12」に変更。
- ・教員補充の理由により「慢性期療養生活援助論」の配置を「講師0」から「講師1」へ変更。
- ・教員補充の理由により「看護過程演習」の配置を「講師8」から「講師1」へ変更。
- ・教員補充の理由により「慢性期看護学実習」の配置を「講師0」から「講師1」へ変更。
- ・教員補充の理由により「統合看護実習」の配置を「講師11」から「講師12」へ変更。
- ・助手退職の理由により「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」の配置を「助手6」から「助手4」へ変更。不足分を他領域教員で対応。
- ・助手補充困難の理由により「母性看護学実習」の配置「助手1」を「助手0」に変更、「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の配置「助手3」を「助手1」に変更、「精神看護学実習」の配置「助手2」を「助手1」に変更、「在宅看護学実習」の配置「助手2」を「助手1」に変更。

- ・教員補充の理由により「急性期看護援助論」の配置「講師1」を「講師2」に変更、「兼任・兼担1」を「兼任・兼担0」に変更。
- ・教員補充の理由により「慢性期療養生活援助論」の配置「兼任・兼担1」を「兼任・兼担0」に変更。
- ・教育効果向上の理由により「ターミナルケア論」の配置を「兼任・兼担0」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・教員退職の理由により「老年看護援助論」「予防看護」「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
- ・教員退職の理由により「精神看護援助論」「精神看護学実習」の配置を「助手1」から「助手0」に変更。
- ・教員退職の理由により「看護過程演習」の配置を「講師8」から「講師7」へ、「助教2」から「助教1」へ変更。
- ・教員退職の理由により「基礎ゼミナール」「専門ゼミナール」「看護研究方法Ⅱ」「統合看護実習」の配置を「助教4」から「助教3」へ変更。
- ・助手退職の理由により「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」の配置を「助手4」から「助手3」へ変更。
- ・助手補充困難の理由により「統合看護実習」の配置「助手16」を「助手13」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
79 科目	39 科目	0 科目	118 科目	79 科目 []	39 科目 []	0 科目 []	118 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎 教養 科目	生活美学	1前	2							1	
	言語と表現	1後	2							1	
	家族社会学	2前	2							1	
	教育学	1後	1							1	
	音楽	2前	1							1	
	哲学	2後	2							1	
	心理学	1後	1							1	
	国際文化論	1前	1							1	
	食文化論	1前	1							1	
	生命倫理	1後	1							1	
	日本国憲法	1前	2							1	
	ジェンダー論	1前	2							1	
	暮らしと経済	1前	2							1	
	生物学	1前	2							1	
	物理	1後	2							1	
	化学	1後	1							1	
	情報科学	1前	1							1	
	統計学	2前	1							1	
	コミュニケーション英語Ⅰ	1後	2							1	
	コミュニケーション英語Ⅱ	2前	2							1	
	総合英語	1前	2							1	
	臨床応用英語	3前	1							1	
	英語文献購読	4後	1							1	
中国語	1前	1							1		
フランス語	1前	1							1		
手話	1後	1							1		
コミュニケーション論	1後	1							1		
カウンセリング論	1後	1							1		
健康運動スポーツ科学論	1前	1							1		
健康運動スポーツ実技	1後	1							1		
小計(30科目)	-	12	18								
専門 基礎 科目	人体解剖学	1前	1			1					
	人体組織学	1前	1			1					
	人体生理学	1後	2			1					
	生化学	1後	2							1	
	病理学	1後	2			1					
	免疫学	1後	2			1					
	薬理学	2前	2			1					
	病態治療学Ⅰ	1後	2			1					
	病態治療学Ⅱ	2前	2							4	
	病態治療学Ⅲ	2後	1							6	
	病態生理学	2前	1			1					
	臨床検査医学	2後	1			1					
	臨床栄養学	2前	2			1					
	公衆衛生学	2後	1			1					
	国際保健環境学	3前	1			1					
疫学	2後	2			1						
保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1			1						
保健医療福祉行政論Ⅱ	3前	2			1						
小計(18科目)	-	18									

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎 教養 科目	生活美学	1前	2							1	
	言語と表現	1後	2							1	
	家族社会学	2前	2							1	
	教育学	1後	1							1	
	音楽	2前	1							1	
	哲学	2後	2							1	
	心理学	1後	1							1	
	国際文化論	1前	1							1	
	食文化論	1前	1							1	
	生命倫理	1後	1							1	
	日本国憲法	1前	2							1	
	ジェンダー論	1前	2							1	
	暮らしと経済	1前	2							1	
	生物学	1前	2							1	
	物理	1後	2							1	
	化学	1後	1							1	
	情報科学	1前	1							1	
	統計学	2前	1							1	
	コミュニケーション英語Ⅰ	1後	2							1	
	コミュニケーション英語Ⅱ	2前	2							1	
	総合英語	1前	2							1	
	臨床応用英語	3前	1							1	
	英語文献購読	4後	1							1	
中国語	1前	1							1		
フランス語	1前	1							1		
手話	1後	1							1		
コミュニケーション論	1後	1							1		
カウンセリング論	1後	1							1		
健康運動スポーツ科学論	1前	1							1		
健康運動スポーツ実技	1後	1							1		
小計(30科目)	-	12	18								
専門 基礎 科目	人体解剖学	1前	1			1					
	人体組織学	1前	1			1					
	人体生理学	1後	2			1					1
	生化学	1後	2								1
	病理学	1後	2			1					
	免疫学	1後	2			1					
	薬理学	2前	2			1					
	病態治療学Ⅰ	1後	2			1					
	病態治療学Ⅱ	2前	2							4	
	病態治療学Ⅲ	2後	1							6	
	病態生理学	2前	1			1					
	臨床検査医学	2後	1			1					
	臨床栄養学	2前	2			1					
	公衆衛生学	2後	1			1					
	国際保健環境学	3前	1			1					
疫学	2後	2			1						
保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1			1						
保健医療福祉行政論Ⅱ	3前	2			1						
小計(18科目)	-	18									

専門科目	看護学概論Ⅰ	1前	1		1						
	看護学概論Ⅱ	2前	1		1						
	ヘルスアセスメント	2前	2		1	1	1				
	基礎看護援助技術Ⅰ	1後	2		1	1	1				
	基礎看護援助技術Ⅱ	2前	2		1	1	1				
	看護援助論	2後	1		1	1	1				
	看護援助演習	2後	1		1	1	1				
	成人看護援助概論	2前	1		1						
	急性期看護援助概論	2後	1		1						
	急性期看護援助論	3前	2				2				
	慢性期療養生活援助概論	2後	1		1						
	慢性期療養生活援助論	3前	2		1	1					
	ターミナルケア論	4後		1		1	1				
	リハビリテーション論	2前		1			1				2
	クリティカルケア論	2後		1							1
	がん看護	3前		1							1
	母性看護援助概論	2後	1		1						
	母性看護援助論	3前	2			1	1	1			
	小児看護援助概論	2後	1		1						
	小児看護援助論	3前	2		1		2				
	老年看護援助概論	2後	1			1					
	老年看護援助論	3前	2			1					
	精神看護援助概論	2前	1		1						
	精神看護援助論	3前	2		1		1	1			
	在宅看護援助概論	2前	1		1						
	在宅看護援助論	3前	2		1	1	1				
	学校看護	2後		1			1				
	災害看護	4後		1							1
	国際看護	3前		1							2
	健康危機管理論	4後		1							2
	人間工学	2後		1							1
	特別講義	4後		1		1					
	家族看護	3前		1		2	2				
	生涯発達論	1後		1							1
	予防看護	2前	1			6		1			
	感染看護	2前	1								2
	チームケア論	2前	1		1			1			2
	栄養ケア論	2後	1		1						1
	認知症看護	2後	1								1
	健康教育学Ⅰ	2後	1		1		1				
	健康教育学Ⅱ	3前	1		1		1	1			1
	看護過程演習	3前	1				4	6	2		
	看護管理論	3前	1		1						
保健統計学Ⅰ	2後	1		1							
保健統計学Ⅱ	3前	1		1							
看護研究方法Ⅰ	3後	1		1							
看護研究方法Ⅱ	4通	1			10	5	7	2			
基礎ゼミナール	1前	1			4	1	7	3			
専門ゼミナール	3後	1			10	5	8	2			
公衆衛生看護学概論Ⅰ	2前	1			1						
公衆衛生看護学概論Ⅱ	4前		1		1						
地域看護診断論	2後			2				1	1		

専門科目	看護学概論Ⅰ	1前	1		1						
	看護学概論Ⅱ	2前	1		1						
	ヘルスアセスメント	2前	2		1	1	1	1			
	基礎看護援助技術Ⅰ	1後	2		1	1	1	1			
	基礎看護援助技術Ⅱ	2前	2		1	1	1	1			
	看護援助論	2後	1		1	1	1	1			
	看護援助演習	2後	1		1	1	1	1			
	成人看護援助概論	2前	1				1				
	急性期看護援助概論	2後	1				1				
	急性期看護援助論	3前	2								2
	慢性期療養生活援助概論	2後	1				1				
	慢性期療養生活援助論	3前	2				1				1
	ターミナルケア論	4後		1							1
	リハビリテーション論	2前		1							2
	クリティカルケア論	2後		1							1
	がん看護	3前		1							1
	母性看護援助概論	2後	1			1					
	母性看護援助論	3前	2				1				1
	小児看護援助概論	2後	1			1					
	小児看護援助論	3前	2			1					2
	老年看護援助概論	2後	1			1					
	老年看護援助論	3前	2			1					
	精神看護援助概論	2前	1			1					
	精神看護援助論	3前	2			1					1
	在宅看護援助概論	2前	1			1					
	在宅看護援助論	3前	2			1	1	1			
	学校看護	2後		1							1
	災害看護	4後		1							1
	国際看護	3前		1							2
	健康危機管理論	4後		1							2
	人間工学	2後		1							1
	特別講義	4後		1		1					
	家族看護	3前		1			3	1			
	生涯発達論	1後		1							1
	予防看護	2前	1								7
	感染看護	2前	1								1
	チームケア論	2前	1				1				1
	栄養ケア論	2後	1				1				1
	認知症看護	2後	1				1				1
	健康教育学Ⅰ	2後	1				1				1
	健康教育学Ⅱ	3前	1				1				1
	看護過程演習	3前	1				1	1			7
	看護管理論	3前	1				1				1
保健統計学Ⅰ	2後	1				1					
保健統計学Ⅱ	3前	1				1					
看護研究方法Ⅰ	3後	1				1					
看護研究方法Ⅱ	4通	1								10	
基礎ゼミナール	1前	1								4	
専門ゼミナール	3後	1								10	
公衆衛生看護学概論Ⅰ	2前	1								1	
公衆衛生看護学概論Ⅱ	3前		1							1	
地域看護診断論	2後			2						1	

地域ケアシステム論	3前		1		1	1														
公衆衛生看護援助論	3前		2			1	1													
公衆衛生活動看護実践論Ⅰ	3前		2		1		1													
公衆衛生活動看護実践論Ⅱ	4前		2		1		1	1												
公衆衛生看護管理論	4前		1		1															
基礎看護学実習Ⅰ	2前	1			1	1	1									16				
基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			1	1	1									16				
急性期看護学実習	3後~4前	3					2									4				
慢性期看護学実習	3後~4前	3			1	1										4				
母性看護学実習	3後~4前	2			1	1	1	1	1							1				
小児看護学実習	3後~4前	2					2									2				
老年看護学実習Ⅰ	3後~4前	2				1										3				
老年看護学実習Ⅱ	3後~4前	2				1										3				
精神看護学実習	3後~4前	2			1		1	1	1							2				
在宅看護学実習	3後~4前	2			1	1	1	1	1							2				
公衆衛生看護学実習Ⅰ	4後		4		1		1	1	1											
公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		1		1		1	1	1											
統合看護実習	4前	2			6	5	9	3	16											
小計(70科目)	-	49	21																	
合計	-	79	39																	
卒業要件及び履修方法																				
「基礎教養科目」で必修15単位、選択必修11単位以上の計26単位、「専門基礎科目」で必修科目28単位、「専門科目」で必修71単位、選択必修3単位以上を修得し合計128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:45単位(年間)) ※公衆衛生看護学及び臨地実習で9科目は保健師教育課程選択者のみ該当する。																				

地域ケアシステム論	4前		1		1	1														
公衆衛生看護援助論	4前		2		1															
公衆衛生活動看護実践論Ⅰ	3前		2		1		1		1											
公衆衛生活動看護実践論Ⅱ	3前		2		1		1	1											1	
公衆衛生看護管理論	4前		1		1															
基礎看護学実習Ⅰ	2前	1			1	1	1		1	1									3	
基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			1	1	1		1	1									3	
急性期看護学実習	3後~4前	3					2									4				
慢性期看護学実習	3後~4前	3			1	1										4				
母性看護学実習	3後~4前	2			1	1	1	1	1							1				
小児看護学実習	3後~4前	2					2							2		2				
老年看護学実習Ⅰ	3後~4前	2				1										1				
老年看護学実習Ⅱ	3後~4前	2				1										1				
精神看護学実習	3後~4前	2			1		1	1	1							1				
在宅看護学実習	3後~4前	2			1	1	1	1	1							1				
公衆衛生看護学実習Ⅰ	4後		4		1		1	1	1											
公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		1		1		1	1	1											
統合看護実習	4前	2			6	5	9	3	16											
小計(70科目)	-	49	21																	
合計	-	79	39																	
卒業要件及び履修方法																				
「基礎教養科目」で必修15単位、選択必修11単位以上の計26単位、「専門基礎科目」で必修科目28単位、「専門科目」で必修71単位、選択必修3単位以上を修得し合計128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:45単位(年間)) ※公衆衛生看護学及び臨地実習で9科目は保健師教育課程選択者のみ該当する。																				

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教養科目	生活美学	1前	2							1	
	言語と表現	1後	2							1	
	家族社会学	2前	2							1	
	教育学	1後	1							1	
	音楽	2前	1							1	
	哲学	2後	2							1	
	心理学	1後	1							1	
	国際文化論	1前	1							1	
	食文化論	1前	1							1	
	生命倫理	1後	1							1	
	日本国憲法	1前	2							1	
	ジェンダー論	1前	2							1	
	暮らしと経済	1前	2							1	
	生物学	1前	2							1	
	物理	1後	2							1	
	化学	1後	1							1	
	情報科学	1前	1							1	
	統計学	2前	1							1	
	コミュニケーション英語Ⅰ	1後	2							1	
	コミュニケーション英語Ⅱ	2前	2							1	
総合英語	1前	2							1		
臨床応用英語	3前	1							1		
英語文献購読	4後	1							1		
中国語	1前	1							1		
フランス語	1前	1							1		
手話	1後	1							1		
コミュニケーション論	1後	1							1		
カウンセリング論	1後	1							1		
健康運動スポーツ科学論	1前	1							1		
健康運動スポーツ実技	1後	1							1		
小計(30科目)	-	12	18								
専門基礎科目	人体解剖学	1前	1			1					
	人体組織学	1前	1			1					
	人体生理学	1後	2			1					1
	生化学	1後	2								
	病理学	1後	2			1					
	免疫学	1後	2			1					
	薬理学	2前	2			1					
	病態治療学Ⅰ	1後	2			1					
	病態治療学Ⅱ	2前	2								4
	病態治療学Ⅲ	2後	1								6
	病態生理学	2前	1			1					
	臨床検査医学	2後	1			1					
	臨床栄養学	2前	2			1					
	公衆衛生学	2後	1			1					
	国際保健環境学	3前	1			1					
	疫学	2後	2			1					
	保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1			1					
	保健医療福祉行政論Ⅱ	3前	2			1					
小計(18科目)	-	18									

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教養科目	生活美学	1前	2							1	
	言語と表現	1後	2							1	
	家族社会学	2前	2							1	
	教育学	1後	1							1	
	音楽	2前	1							1	
	哲学	2後	2							1	
	心理学	1後	1							1	
	国際文化論	1前	1							1	
	食文化論	1前	1							1	
	生命倫理	1後	1							1	
	日本国憲法	1前	2							1	
	ジェンダー論	1前	2							1	
	暮らしと経済	1前	2							1	
	生物学	1前	2							1	
	物理	1後	2							1	
	化学	1後	1							1	
	情報科学	1前	1							1	
	統計学	2前	1							1	
	コミュニケーション英語Ⅰ	1後	2							1	
	コミュニケーション英語Ⅱ	2前	2							1	
総合英語	1前	2							1		
臨床応用英語	3前	1							1		
英語文献購読	4後	1							1		
中国語	1前	1							1		
フランス語	1前	1							1		
手話	1後	1							1		
コミュニケーション論	1後	1							1		
カウンセリング論	1後	1							1		
健康運動スポーツ科学論	1前	1							1		
健康運動スポーツ実技	1後	1							1		
小計(30科目)	-	12	18								
専門基礎科目	人体解剖学	1前	1			1					
	人体組織学	1前	1			1					
	人体生理学	1後	2			1					1
	生化学	1後	2								
	病理学	1後	2			1					
	免疫学	1後	2			1					
	薬理学	2前	2			1					
	病態治療学Ⅰ	1後	2			1					
	病態治療学Ⅱ	2前	2								4
	病態治療学Ⅲ	2後	1								6
	病態生理学	2前	1			1					
	臨床検査医学	2後	1			1					
	臨床栄養学	2前	2			1					
	公衆衛生学	2後	1			1					
	国際保健環境学	3前	1			1					
	疫学	2後	2			1					
	保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1			1					
	保健医療福祉行政論Ⅱ	3前	2			1					
小計(18科目)	-	18									

地域看護診断論	2後		2			1	1						
地域ケアシステム論	3前		1		1	1	1						
公衆衛生看護援助論	3前		2			1	1						
公衆衛生活動看護実践論Ⅰ	3前		2		1	1							
公衆衛生活動看護実践論Ⅱ	4前		2		1	1	1						
公衆衛生看護管理論	4前		1		1								
基礎看護学実習Ⅰ	2前	1			1	1	1	1			16		
基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			1	1	1	1			16		
急性期看護学実習	3後～4前	3					2				4		
慢性期看護学実習	3後～4前	3			1	1					4		
母性看護学実習	3後～4前	2			1	1	1	1			1		
小児看護学実習	3後～4前	2					2				2		
老年看護学実習Ⅰ	3後～4前	2				1	1				3		
老年看護学実習Ⅱ	3後～4前	2				1	1				3		
精神看護学実習	3後～4前	2			1		1	1			2		
在宅看護学実習	3後～4前	2			1	1	1				2		
公衆衛生看護学実習Ⅰ	4後		4		1		1	1					
公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		1		1		1	1					
統合看護学実習	4前		2		6	5	10	4			16		
小計(70科目)	-		49	21									
合計	-		79	39									

卒業要件及び履修方法

「基礎教養科目」で必修15単位、選択必修11単位以上の計26単位、「専門基礎科目」で必修科目28単位、「専門科目」で必修71単位、選択必修3単位以上を修得し合計128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:45単位(年間))
※公衆衛生看護学及び臨床実習で9科目は保健師教育課程選択者のみ該当する。

地域看護診断論	2後		2			1	1						
地域ケアシステム論	3前		1		1	1	1						
公衆衛生看護援助論	3前		2			1	1						
公衆衛生活動看護実践論Ⅰ	3前		2		1	1							
公衆衛生活動看護実践論Ⅱ	4前		2		1	1	1						
公衆衛生看護管理論	4前		1		1								
基礎看護学実習Ⅰ	2前	1			1	1	1	1			6		
基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			1	1	1	1			6		
急性期看護学実習	3後～4前	3					2				4		
慢性期看護学実習	3後～4前	3			1	1					4		
母性看護学実習	3後～4前	2			1	1	1	1			1		
小児看護学実習	3後～4前	2					2				2		
老年看護学実習Ⅰ	3後～4前	2				1	1				3		
老年看護学実習Ⅱ	3後～4前	2				1	1				3		
精神看護学実習	3後～4前	2			1		1	1			2		
在宅看護学実習	3後～4前	2			1	1	1				2		
公衆衛生看護学実習Ⅰ	4後		4		1		1	1					
公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		1		1		1	1					
統合看護学実習	4前		2		6	5	10	4			16		
小計(70科目)	-		49	21									
合計	-		79	39									

卒業要件及び履修方法

「基礎教養科目」で必修15単位、選択必修11単位以上の計26単位、「専門基礎科目」で必修科目28単位、「専門科目」で必修71単位、選択必修3単位以上を修得し合計128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:45単位(年間))
※公衆衛生看護学及び臨床実習で9科目は保健師教育課程選択者のみ該当する。

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講師	助教		助手		
基礎教養科目	生活美学	1前		2							1		
	言語と表現	1後		2							1		
	家族社会学	2前		2							1		
	教育学	1後		1							1		
	音楽	2前		1							1		
	哲学	2後		2							1		
	心理学	1後	1								1		
	国際文化論	1前		1							1		
	食文化論	1前		1							1		
	生命倫理	1後		1							1		
	日本国憲法	1前			2						1		
	ジェンダー論	1前			2						1		
	暮らしと経済	1前			2						1		
	生物学	1前			2						1		
	物理	1後			2						1		
	化学	1後	1								1		
	情報科学	1前			1						1		
	統計学	2前			1						1		
	コミュニケーション英語Ⅰ	1後			2						1		
	コミュニケーション英語Ⅱ	2前			2						1		
	総合英語	1前			2						1		
	臨床応用英語	3前			1						1		
	英語文献購読	4後			1						1		
中国語	1前			1						1			
フランス語	1前			1						1			
手話	1後			1						1			
コミュニケーション論	1後	1								1			

	カウンセリング論	1後	1									1
	健康運動スポーツ科学論	1前		1								1
	健康運動スポーツ実技	1後		1								1
	小計(30科目)	-	12	18								
専門基礎科目	人体解剖学	1前	1			1						
	人体組織学	1前	1			1						
	人体生理学	1後	2			1						
	生化学	1後	2									1
	病理学	1後	2			1						
	免疫学	1後	2			1						
	薬理学	2前	2			1						
	病態治療学Ⅰ	1後	2			1						
	病態治療学Ⅱ	2前	2									4
	病態治療学Ⅲ	2後	1									6
	病態生理学	2前	1			1						
	臨床検査医学	2後	1			1						
	臨床栄養学	2前	2			1						
	公衆衛生学	2後	1			1						
	国際保健環境学	3前	1			1						
	疫学	2後	2			1						
	保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1			1						
	保健医療福祉行政論Ⅱ	3前	2			1						
小計(18科目)	-	18										
専門科目	看護学概論Ⅰ	1前	1			1						
	看護学概論Ⅱ	2前	1			1						
	ヘルスアセスメント	2前	2			1	1	1	1			
	基礎看護援助技術Ⅰ	1後	2			1	1	1	1	1		
	基礎看護援助技術Ⅱ	2前	2			1	1	1	1	1		
	看護援助論	2後	1			1	1	1	1	1		
	看護援助演習	2後	1			1	1	1	1	1		
	成人看護援助概論	2前	1			1						
	急性期看護援助概論	2後	1			1						
	急性期看護援助論	3前	2						1			1
	慢性期療養生活援助概論	2後	1			1						
	慢性期療養生活援助論	3前	2			1			1			1
	ターミナルケア論	4後		1					1			
	リハビリテーション論	2前	1						1			2
	クリティカルケア論	2後	1									1
	がん看護	3前	1									1
	母性看護援助概論	2後	1			1						
	母性看護援助論	3前	2			1			1	1		
	小児看護援助概論	2後	1			1						
	小児看護援助論	3前	2			1			2			
	老年看護援助概論	2後	1			1						
	老年看護援助論	3前	2			1			1			
	精神看護援助概論	2前	1			1						
	精神看護援助論	3前	2			1			1	1		
	在宅看護援助概論	2前	1			1						
	在宅看護援助論	3前	2			1	1		1			
	学校看護	2後		1						1		
	災害看護	4後		1								1
	国際看護	3前		1								2
	健康危機管理論	4後		1								2
	人間工学	2後		1								1
	特別講義	4後		1			1					
	家族看護	3前		1			3	1				
生涯発達論	1後		1								1	
予防看護	2前	1				7			2			
感染看護	2前	1								1		
チームケア論	2前	1				1			1		2	
栄養ケア論	2後	1				1					1	
認知症看護	2後	1				1						

健康教育学Ⅰ	2後	1			1		1	1			1
健康教育学Ⅱ	3前	1			1		1	1			1
看護過程演習	3前	1			1	1	9	2			
看護管理論	3前	1			1						
保健統計学Ⅰ	2後	1			1						
保健統計学Ⅱ	3前	1			1						
看護研究方法Ⅰ	3後	1			1						
看護研究方法Ⅱ	4通	1			10	2	12	3			
基礎ゼミナール	1前	1			4	1	12	4			
専門ゼミナール	3後	1			10	2	12	3			
公衆衛生看護学概論Ⅰ	2前	1			1						
公衆衛生看護学概論Ⅱ	3前		1		1						
地域看護診断論	2後		2				1	1			
地域ケアシステム論	4前		1		1		1	1			
公衆衛生看護援助論	4前		2		1		1	1			
公衆衛生活動看護実践論Ⅰ	3前		2		1		1	1			
公衆衛生活動看護実践論Ⅱ	3前		2		1		1	1			1
公衆衛生看護管理論	4前		1		1						
基礎看護学実習Ⅰ	2前	1			1	1	1	1			4
基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			1	1	1	1			4
急性期看護学実習	3後~4前	3					1				4
慢性期看護学実習	3後~4前	3			1		1				4
母性看護学実習	3後~4前	2			1		1	1			0
小児看護学実習	3後~4前	2					2				2
老年看護学実習Ⅰ	3後~4前	2			1		2				1
老年看護学実習Ⅱ	3後~4前	2			1		2				1
精神看護学実習	3後~4前	2			1		1	1			1
在宅看護学実習	3後~4前	2			1	1	1				1
公衆衛生看護学実習Ⅰ	4後		4		1		1	1			
公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		1		1		1	1			
統合看護実習	4前	2			7	2	12	4	16		
小計(70科目)	-	49	21								
合計	-	79	39								
卒業要件及び履修方法											
「基礎教養科目」で必修15単位、選択必修11単位以上の計26単位、「専門基礎科目」で必修科目28単位、「専門科目」で必修71単位、選択必修3単位以上を修得し合計128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:45単位(年間)) ※公衆衛生看護学及び臨床実習で9科目は保健師教育課程選択者のみ該当する。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ①-②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・ 教員補充の理由により「ヘルスアセスメント」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「基礎看護技術Ⅰ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「基礎看護技術Ⅱ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「看護援助論」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「看護援助演習」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「看護研究方法Ⅱ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「基礎ゼミナール」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「専門ゼミナール」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「基礎看護学実習Ⅰ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「基礎看護学実習Ⅱ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「統合看護実習」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「老年看護援助論」の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「老年看護学実習Ⅰ」の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「老年看護学実習Ⅱ」の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・ 教授学長就任の理由により、「看護研究方法Ⅱ」の配置を「教授10」から「教授9」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「看護研究方法Ⅱ」の配置を「講師7」から「講師8」に追加変更。
- ・ 教授学長就任の理由により、「基礎ゼミナール」の配置を「教授4」から「教授3」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「基礎ゼミナール」の配置を「講師8」から「講師9」に追加変更。
- ・ 教授学長就任の理由により、「専門ゼミナール」の配置を「教授10」から「教授9」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「専門ゼミナール」の配置を「講師8」から「講師9」に追加変更。
- ・ 教員補充の理由により「統合看護実習」の配置を「講師9」から「講師10」に追加変更。
- ・ 教員補充の理由により「予防看護」の配置を「講師1」から「講師2」に追加変更。

【平成29年度】

- ・ 30年度着任の理由により「成人看護援助論」「慢性期療養生活援助概論」の配置を「教授1」から「教授0」「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」へ変更。
- ・ 教員退職の理由により「急性期看護援助論」の配置を「講師2」を「講師1」に変更。
- ・ 教員就任辞退の理由により「母性看護援助論」の配置を「准教授1」から「准教授0」へ変更し「教授0」から「教授1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「老年看護援助概論」「老年看護援助論」の配置を「教授0」から「教授1」へ変更。
- ・ 平成30年度着任の理由により「29年度開講の「精神看護援助概論」の配置を「教授1」から「教授」「兼任・兼担0」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 教員就任辞退の理由により「家族看護」の配置を「准教授1」から「准教授0」、教員補充により「教授0」から「教授1」に変更。
- ・ 30年度着任の理由により「予防看護」の配置を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 30年度着任の理由により「健康教育Ⅰ」の配置を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 教員就任辞退の理由により「看護過程演習」の配置を「准教授4」から「准教授3」に変更、教員補充により「教授0」から「教授1」に変更。
- ・ 教員就任辞退の理由により「看護研究方法Ⅱ」の配置を「准教授5」から「准教授4」に変更し、教員補充により「教授9」を「教授10」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「基礎ゼミナール」の配置を「教授3」から「教授4」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「専門ゼミナール」の配置を「教授9」を「教授10」に変更。
- ・ 教員退職の理由により「急性期看護学実習」配置を「講師2」から「講師1」に変更。
- ・ 教員補充の理由により「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・ 教員就任辞退の理由により「統合看護実習」の配置を「准教授5」から「准教授4」に変更し、教員補充により「教授6」を「教授7」に変更。
- ・ 助手補充困難の理由により「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」の「助手16」を「助手6」に変更。不足分を他領域教員で対応。

【平成30年度】

- ・30年度就任の理由により「成人看護援助概論」「慢性期療養生活援助概論」の配置を「教授0」から教授「1」へ変更し「兼任・兼任1」を「兼任・兼任0」に変更。
- ・教育効果向上の理由により「急性期看護援助論」「慢性期療養生活援助論」の「兼任・兼任0」を「兼任・兼任1」に変更。
- ・教員退職の理由により「老年看護援助概論」「老年看護援助論」「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・教員就任辞退の理由により「精神看護援助概論」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更、教員補充により「教授0」を「教授1」に変更。
- ・教員退職の理由により「慢性期療養生活援助論」「ターミナルケア論」「慢性期看護学実習」の配置を「准教授1」から「准教授0」へ変更。
- ・教員退職の理由により「看護過程演習」の配置を「准教授3」から「准教授1」へ変更。
- ・教員退職の理由により「専門ゼミナール」「看護研究方法Ⅱ」の配置を「准教授4」から「准教授2」へ変更。
- ・担当辞退の理由により「感染看護」「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更、「助教0」を「助教1」に変更。
- ・教員補充の理由により「予防看護」の配置を「教授6」から「教授7」に変更。
- ・教員補充の理由により「認知症看護」の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」、「教授0」から「教授1」に変更。
- ・教員補充の理由により「健康教育Ⅰ」の配置を「教授0」から「教授1」に、「助教0」を「助教1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により「健康教育Ⅱ」の配置に「兼任・兼任1」を追加変更。
- ・教員退職の理由により「看護過程演習」の配置を「准教授3」から「准教授1」へ変更。教員補充により「講師6」を「講師8」に変更。
- ・教員退職の理由により「看護研究方法Ⅱ」の配置を「准教授4」から「准教授2」へ変更。教員補充により「講師8」を「講師10」に変更。
- ・教員補充の理由により「基礎ゼミナール」「専門ゼミナール」の配置を「講師9」から「講師10」に変更。
- ・教育効果向上の理由により「公衆衛生活動看護実践論Ⅱ」の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教員補充の理由により「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
- ・教員退職の理由により「統合看護実習」の教員配置を「准教授4」から「准教授2」に変更。教員補充により「講師10」から「講師11」に変更。
- ・教育効果向上の理由により保健師科目の「公衆衛生看護学概論Ⅱ」の配当年次を「4年前期」から「3年前期」に変更。
- ・教育効果向上の理由により保健師科目の「地域ケアシステム論」の配当年次を「3年前期」から「4年前期」に変更。
- ・教育効果向上の理由により保健師科目の「公衆衛生看護援助論」の配当年次を「3年前期」から「4年前期」に変更。
- ・教育効果向上の理由により保健師科目の「公衆衛生活動看護実践論Ⅱ」の配当年次を「4年前期」から「3年前期」に変更。
- ・教育効果向上の理由により「公衆衛生看護援助論」の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により「公衆衛生活動看護実践論Ⅰ」の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教員補充及び教育効果向上の理由により「基礎ゼミナール」の配置を「講師10」から「講師12」に変更。
- ・教員補充及び教育効果向上の理由により「専門ゼミナール」の配置を「講師10」から「講師12」に変更。
- ・教員補充及び教育効果向上の理由により「看護研究方法Ⅱ」の配置を「講師10」から「講師12」に変更。
- ・教員補充の理由により「慢性期療養生活援助論」の配置を「講師0」から「講師1」へ変更。
- ・教員補充の理由により「看護過程演習」の配置を「講師8」から「講師1」へ変更。
- ・教員補充の理由により「慢性期看護学実習」の配置を「講師0」から「講師1」へ変更。
- ・教員補充の理由により「統合看護実習」の配置を「講師11」から「講師12」へ変更。
- ・助手退職の理由により「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」の配置を「助手6」から「助手4」へ変更。不足分を他領域教員で対応。
- ・助手補充困難の理由により「母性看護学実習」の配置「助手1」を「助手0」に変更、「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の配置「助手3」を「助手1」に変更、「精神看護学実習」の配置「助手2」を「助手1」に変更、「在宅看護学実習」の配置「助手2」を「助手1」に変更。

【令和元年度】

- ・教員補充の理由により「急性期看護援助論」の配置「講師1」を「講師2」に変更、「兼任・兼任1」を「兼任・兼任0」に変更。
- ・教員補充の理由により「慢性期療養生活援助論」の配置「兼任・兼任1」を「兼任・兼任0」に変更。
- ・教育効果向上の理由により「ターミナルケア論」の配置を「兼任・兼任0」を「兼任・兼任1」に変更。
- ・教員退職の理由により「老年看護援助論」「予防看護」「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
- ・教員退職の理由により「精神看護援助論」「精神看護学実習」の配置を「助手1」から「助手0」に変更。
- ・教員退職の理由により「看護過程演習」の配置を「講師8」から「講師7」へ、「助教2」から「助教1」へ変更。
- ・教員退職の理由により「基礎ゼミナール」「専門ゼミナール」「看護研究方法Ⅱ」「統合看護実習」の配置を「助教4」から「助教3」へ変更。
- ・助手退職の理由により「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」の配置を「助手4」から「助手3」へ変更。
- ・助手補充困難の理由により「統合看護実習」の配置「助手16」を「助手13」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
79 科目	39 科目	0 科目	118 科目	79 科目	39 科目	0 科目	118 科目	
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入して
看護学部
看護学科
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{118} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	修文大学短期大学部 (必要面積7,800㎡)と 共用(収容定員:780 人) 厚生補導施設として 「学生会館」を増設 (29)		
	校舎敷地	3,427.00㎡	5,199.99㎡	2,501.69㎡	11,128.68㎡			
	運動場用地	0.00㎡	26,293.74㎡ 26,409.99㎡	0.00㎡	26,293.74㎡ 26,409.99㎡			
	小 計	3,427.00㎡	31,493.73㎡ 31,689.97㎡	2,501.69㎡	37,422.42㎡ 37,618.66㎡			
	そ の 他	0.00㎡	1,517.93㎡ 1,321.69㎡	0.00㎡	1,517.93㎡ 1,321.69㎡			
	合 計	3,427.00㎡	33,011.66㎡	2,501.69㎡	38,940.35㎡			
看護学部		専 用 (4,148.18㎡)	共 用 (12,912.20㎡)	共用する他の 学校等の専用 (6,164.51㎡)	計 (23,224.89㎡)	修文大学短期大学部 (必要面積6,150㎡)と 共用(収容定員:780 人)		
(3) 教 室 等		講 義 室 14室	演 習 室 7室	実験実習室 3室 (補助職員0人)	情報処理学習施設 3室 (補助職員0人)		語学学習施設 1室 (補助職員0人)	
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 看護学部 看護学科		室 数 28 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	看護学部用として整備 教育・研究の充実の ため (28) (29) (30) (元)
	看護学部	1,700 [97] 1,600 1,500 [95] (1,604 [97])	58 [8] 57 [8] 55 [-8] 20 [-5]	4 [2] 2 [-0]	250 190 160 150 6	1,758 2,100 1,758	220 200 158	
	計	1,700 [97] 1,600 1,500 [95] (1,604 [97])	58 [8] 57 [8] 55 [-8] 20 [-5]	4 [2] 2 [-0]	250 190 160 150 6	1,758 2,100 1,758	220 200 158	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		修文大学短期大学部 と共用	
	1,129㎡		155席		100,000冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	838㎡		テニスコート5面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	12,699千円	2,998千円 3,790千円 2,000千円	2,000千円
	共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	154,565千円 153,245千円	15,014千円 9,900千円 5,000千円	3,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,650千円	第2年次 1,450千円	第3年次 1,450千円	第4年次 1,450千円	第5年次 -千円	第6年次 -千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入、雑収入 等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	修文大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
健康栄養学部	4	80	-	320		0.65	-	平成20	-	
管理栄養学科	4	80	-	320	学士 (栄養学)	0.65	-	平成20	愛知県一宮市日光町6番地	
看護学部	4	100	-	400		1.04	-	平成28	-	
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.04	-	平成28	愛知県一宮市日光町6番地	
大学全体	4	180	-	720	-	0.85	-	-	-	
大学の名称	修文大学 短期大学部									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
生活文化学科	2	120	-	240	短期大学士 (家政学)	0.75	-	昭和30	愛知県一宮市日光町6番地	
幼児教育学科第一部	2	120	-	240	短期大学士 (教育学)	0.33	-	昭和37	同上	
幼児教育学科第三部	3	100	-	300	短期大学士 (教育学)	0.81	-	昭和44	同上	
大学全体	2又は3	340	-	780	-	0.65	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

専任・兼任・兼任 看護学部 看護学科	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
	専 准教授	<平成28年4月> 慢性期療養生活援助論 ターミナルケア論※ 専門ゼミナール 慢性期看護学実習 統合看護実習 看護研究方法Ⅱ 看護過程演習※		専 准教授	<平成28年4月> 慢性期療養生活援助論 ターミナルケア論※ 専門ゼミナール 慢性期看護学実習 統合看護実習 看護研究方法Ⅱ 看護過程演習※		専 准教授	<平成28年4月> 慢性期療養生活援助論 ターミナルケア論※ 専門ゼミナール 慢性期看護学実習 統合看護実習 看護研究方法Ⅱ 看護過程演習※		専 講師	<平成30年7月> 慢性期療養生活援助論 基礎ゼミナール 専門ゼミナール 慢性期看護学実習 統合看護実習 看護研究方法Ⅱ 看護過程演習※		専 講師	<平成30年7月> 慢性期療養生活援助論 基礎ゼミナール 専門ゼミナール 慢性期看護学実習 統合看護実習 看護研究方法Ⅱ 看護過程演習※	
	専 准教授	<平成28年4月> 老年看護援助概論 老年看護援助論 看護過程演習※ 専門ゼミナール 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合看護実習 看護研究方法Ⅱ		専 准教授	<平成28年4月> 老年看護援助概論 老年看護援助論 看護過程演習※ 専門ゼミナール 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合看護実習 看護研究方法Ⅱ		専 准教授	<平成28年4月> 老年看護援助概論 老年看護援助論 看護過程演習※ 専門ゼミナール 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合看護実習 看護研究方法Ⅱ							
	専 准教授	<平成29年4月> 母性看護援助論 家族看護※ 看護過程演習※ 専門ゼミナール 母性看護学実習 統合看護実習 看護研究方法Ⅱ		専 准教授	<平成29年4月> 母性看護援助論 家族看護※ 看護過程演習※ 専門ゼミナール 母性看護学実習 統合看護実習 看護研究方法Ⅱ										
	専 准教授	<平成30年4月> 急性期看護援助概論 急性期看護援助論 専門ゼミナール 急性期看護学実習 統合看護実習 看護研究方法Ⅱ													
	兼任 准教授	<平成29年4月> 急性期看護援助概論													
	専 講師	<平成28年4月> リハビリテーション論※ 看護過程演習※ 基礎ゼミナール 専門ゼミナール 急性期看護学実習 統合看護実習 ターミナルケア論※ 看護研究方法Ⅱ 急性期看護援助論		専 講師	<平成28年4月> リハビリテーション論※ 看護過程演習※ 基礎ゼミナール 専門ゼミナール 急性期看護学実習 統合看護実習 ターミナルケア論※ 看護研究方法Ⅱ 急性期看護援助論		専 講師	<平成28年4月> リハビリテーション論※ 看護過程演習※ 基礎ゼミナール 専門ゼミナール 急性期看護学実習 統合看護実習 ターミナルケア論※ 看護研究方法Ⅱ 急性期看護援助論		専 講師	<平成28年4月> リハビリテーション論※ 看護過程演習※ 基礎ゼミナール 専門ゼミナール 急性期看護学実習 統合看護実習 ターミナルケア論※ 看護研究方法Ⅱ 急性期看護援助論		専 講師	<平成28年4月> リハビリテーション論※ 看護過程演習※ 基礎ゼミナール 専門ゼミナール 急性期看護学実習 統合看護実習 ターミナルケア論※ 看護研究方法Ⅱ 急性期看護援助論	
	専 講師	<平成28年4月> 地域ケアシステム論 地域看護診断論 学校看護 基礎ゼミナール 専門ゼミナール 健康教育学Ⅰ 健康教育学Ⅱ 公衆衛生看護援助論 公衆衛生活動看護実習Ⅰ 公衆衛生活動看護実習Ⅱ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 看護研究方法Ⅱ 統合看護実習		専 講師	<平成28年4月> 地域ケアシステム論 地域看護診断論 学校看護 基礎ゼミナール 専門ゼミナール 健康教育学Ⅰ 健康教育学Ⅱ 公衆衛生看護援助論 公衆衛生活動看護実習Ⅰ 公衆衛生活動看護実習Ⅱ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 看護研究方法Ⅱ 統合看護実習		専 講師	<平成28年4月> 地域ケアシステム論 地域看護診断論 学校看護 基礎ゼミナール 専門ゼミナール 健康教育学Ⅰ 健康教育学Ⅱ 公衆衛生看護援助論 公衆衛生活動看護実習Ⅰ 公衆衛生活動看護実習Ⅱ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 看護研究方法Ⅱ 統合看護実習		専 講師	<平成28年4月> 地域ケアシステム論 地域看護診断論 学校看護 基礎ゼミナール 専門ゼミナール 健康教育学Ⅰ 健康教育学Ⅱ 公衆衛生看護援助論 公衆衛生活動看護実習Ⅰ 公衆衛生活動看護実習Ⅱ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 看護研究方法Ⅱ 統合看護実習		専 講師	<平成28年4月> 地域ケアシステム論 地域看護診断論 学校看護 基礎ゼミナール 専門ゼミナール 健康教育学Ⅰ 健康教育学Ⅱ 公衆衛生看護援助論 公衆衛生活動看護実習Ⅰ 公衆衛生活動看護実習Ⅱ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 看護研究方法Ⅱ 統合看護実習	

専任・兼任・兼任 看護学部 看護学科	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等			
		担当授業科目名												
			専	講師	<平成28年4月> 急性期看護援助論 専門ゼミナール 急性期看護学実習 統合看護実習 看護研究方法Ⅱ 基礎ゼミナール									
			専	講師	<平成30年4月>					専	講師	<平成30年4月>		
			専	助教	<平成28年4月> 基礎看護援助技術Ⅰ 基礎看護援助技術Ⅱ 看護援助論 看護援助演習 専門ゼミナール 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習 ヘルスアセスメント 看護研究方法Ⅱ 基礎ゼミナール					専	助教	<平成28年4月> 基礎看護援助技術Ⅰ 基礎看護援助技術Ⅱ 看護援助論 看護援助演習 専門ゼミナール 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習 ヘルスアセスメント 看護研究方法Ⅱ 基礎ゼミナール 感染看護※		
			専	助教	<平成28年4月> 母性看護援助論 看護過程演習※ 基礎ゼミナール 専門ゼミナール 母性看護学実習 統合看護実習 看護研究方法Ⅱ					専	助教	<平成28年4月> 母性看護援助論 看護過程演習※ 基礎ゼミナール 専門ゼミナール 母性看護学実習 統合看護実習 看護研究方法Ⅱ		
			専	助教	<平成28年4月> 地域看護診断論 基礎ゼミナール 専門ゼミナール 統合看護実習 看護研究方法Ⅱ 健康教育Ⅱ 地域ケアシステム論 公衆衛生活動実践Ⅱ 公衆衛生看護援助論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ					専	助教	<平成28年4月> 地域看護診断論 基礎ゼミナール 専門ゼミナール 統合看護実習 看護研究方法Ⅱ 健康教育Ⅱ 地域ケアシステム論 公衆衛生活動実践Ⅱ 公衆衛生看護援助論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 健康教育学Ⅰ 公衆衛生活動看護援助論Ⅰ		
			専	助教	<平成28年4月> 精神看護援助論 看護過程演習 基礎ゼミナール 精神看護学実習 統合看護実習					専	助教	<平成28年4月> 精神看護援助論 看護過程演習 基礎ゼミナール 精神看護学実習 統合看護実習		
			兼任	講師	<平成28年4月> 健康運動スポーツ科学論 健康運動スポーツ実技					兼任	講師	<平成28年4月> 健康運動スポーツ科学論 健康運動スポーツ実技		
			兼任	講師	<平成29年9月> 病態治療学Ⅲ※					兼任	講師	<平成29年9月> 病態治療学Ⅲ※		
			兼任	講師	<平成29年4月> 栄養ケア論 チームケア論※					兼任	講師	<平成29年4月> 栄養ケア論 チームケア論※		

専任・兼任・看護学部 看護学科	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	
		<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名		
兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師
		家族社会学 情報科学 統計学 カウンセリング論			家族社会学 情報科学 統計学 カウンセリング論			家族社会学 情報科学 統計学 カウンセリング論			家族社会学 情報科学 統計学 カウンセリング論		
兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師
		化学 生化学			化学 生化学			化学 生化学			化学 生化学		
								<平成29年9月>			<平成29年9月>		
								言語と表現			言語と表現		
											<平成30年4月>		
											日本国憲法		
兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師
		心理学 コミュニケーション論			心理学 コミュニケーション論			心理学 コミュニケーション論			心理学 コミュニケーション論		
兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師
		生活美学			生活美学			生活美学			生活美学		
兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師
		国際文化論 ジェンダー論			国際文化論 ジェンダー論			ジェンダー論			ジェンダー論		
兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師
		教育学			教育学			教育学			教育学		
兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師
		音楽			音楽			音楽			音楽		
兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師
		食文化論			食文化論			食文化論			食文化論		
兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師
		臨床応用英語 英語文献購読			臨床応用英語 英語文献購読			臨床応用英語 英語文献購読			臨床応用英語 英語文献購読		
兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師
		言語と表現			言語と表現			言語と表現			言語と表現		
兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師
		哲学			哲学			哲学			哲学		
兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師
		生命倫理			生命倫理			生命倫理			生命倫理		

専任・兼任・兼任学部長看護学科	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名		
兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師	<平成28年4月>		
		日本国憲法			日本国憲法			日本国憲法		
兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師
		暮らしと経済			暮らしと経済			暮らしと経済		暮らしと経済
兼任	講師	<平成29年4月>								
		生物学								
			兼任	講師	<平成28年4月>					
					生物学					
						兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師
								生物学		生物学
兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師
		物理			物理			物理		物理
兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師
		コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ			コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ			コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ		コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ
兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師
		総合英語			総合英語			総合英語 国際文化論		総合英語 国際文化論
兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師
		中国語			中国語			中国語		中国語
兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師	<平成28年4月>	兼任	講師
		フランス語			フランス語			フランス語		フランス語
兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師	<平成28年9月>	兼任	講師
		手話			手話			手話		手話
兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師
		クリティカルケア論			クリティカルケア論			クリティカルケア論		クリティカルケア論
兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師
		がん看護			がん看護			がん看護		がん看護
兼任	講師	<平成31年9月>	兼任	講師	<平成31年9月>	兼任	講師	<平成31年9月>	兼任	講師
		防災看護			防災看護			防災看護		防災看護
兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師	<平成30年4月>		
		国際看護			国際看護			国際看護		

専任・兼任・兼任 看護学部 看護学科	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	
		<就任(予定)年月 保有学位等 担当授業科目名		<就任(予定)年月 保有学位等 担当授業科目名		<就任(予定)年月 保有学位等 担当授業科目名		<就任(予定)年月 保有学位等 担当授業科目名		<就任(予定)年月 保有学位等 担当授業科目名	
兼任	講師	<平成30年4月> 国際看護※	兼任	講師	<平成30年4月> 国際看護※	兼任	講師	<平成30年4月> 国際看護※	兼任	講師	<平成31年4月> 国際看護
兼任	講師	<平成29年9月> 人間工学	兼任	講師	<平成29年9月> 人間工学	兼任	講師	<平成29年9月> 人間工学	兼任	講師	<平成29年9月> 人間工学
兼任	講師	<平成28年9月> 障害発達論	兼任	講師	<平成28年9月> 障害発達論	兼任	講師	<平成28年9月> 障害発達論	兼任	講師	<平成28年9月> 障害発達論
兼任	講師	<平成29年4月> 感染看護※	兼任	講師	<平成29年4月> 感染看護※	兼任	講師	<平成29年4月> 感染看護※	兼任	講師	<平成29年4月> 感染看護※
兼任	講師	<平成31年9月> 感染看護※	兼任	講師	<平成31年9月> 感染看護※	兼任	講師	<平成31年9月> 感染看護※			
兼任	講師	<平成29年9月> 認知症看護	兼任	講師	<平成29年9月> 認知症看護	兼任	講師	<平成29年9月> 認知症看護			
兼任	講師	<平成31年9月> 健康危機管理論※	兼任	講師	<平成31年9月> 健康危機管理論※	兼任	講師	<平成31年9月> 健康危機管理論※	兼任	講師	<平成31年9月> 健康危機管理論※
兼任	講師	<平成31年9月> 健康危機管理論※	兼任	講師	<平成31年9月> 健康危機管理論※	兼任	講師	<平成31年9月> 健康危機管理論※	兼任	講師	<平成31年9月> 健康危機管理論※
兼任	講師	<平成29年4月> チームケア論※	兼任	講師	<平成29年4月> チームケア論※	兼任	講師	<平成29年4月> チームケア論※	兼任	講師	<平成29年4月> チームケア論※
兼任	講師	<平成29年4月> リハビリテーション論※	兼任	講師	<平成29年4月> リハビリテーション論※	兼任	講師	<平成29年4月> リハビリテーション論※			
兼任	講師	<平成29年4月> 病態治療学Ⅱ※	兼任	講師	<平成29年4月> 病態治療学Ⅱ※	兼任	講師	<平成29年4月> 病態治療学Ⅱ※	兼任	講師	<平成31年4月> リハビリテーション論※
兼任	講師	<平成29年4月> 病態治療学Ⅱ※	兼任	講師	<平成29年4月> 病態治療学Ⅱ※	兼任	講師	<平成29年4月> 病態治療学Ⅱ※	兼任	講師	<平成29年4月> 病態治療学Ⅱ※
									兼任	講師	<平成30年4月> 病態治療学Ⅱ※

専任・兼任・兼任 看護学部 看護学科	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師
		病態治療学Ⅱ※											
兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師
		病態治療学Ⅲ※											
兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師
		病態治療学Ⅲ※											
兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師
		病態治療学Ⅲ※											
兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師
		病態治療学Ⅲ※											
兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師
		病態治療学Ⅲ※											
兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師
		病態治療学Ⅲ※											
兼任	講師	<平成29年9月>	兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師
		病態治療学Ⅲ※											
兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師
		リハビリテーション論※											
兼任	講師	<平成29年4月>	兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師
		リハビリテーション論※											
兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師
		健康教育学Ⅱ											
兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師
		健康教育学Ⅰ 公衆衛生学看護実践論Ⅱ											
兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師
		慢性期療養生活援助論											
兼任	講師	<平成31年4月>	兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師
		病態治療学Ⅲ※											
兼任	講師	<平成31年4月>	兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師
		リハビリテーション論※											
兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師
		健康教育学Ⅰ 公衆衛生学看護実践論Ⅱ 健康ケアシステム論 健康教育学Ⅱ											
兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師
		ターミナルケア論											

専任・ 兼任・ 看護学部 看護学科	職名	氏名 (年齢)	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
									兼任	講師	<平成30年4月> 急性期看護援助論			
													兼任	講師 <平成31年9月> 災害看護
													兼任	講師 <平成31年9月> 特別講義
													兼任	講師 <平成31年9月> 特別講義
													兼任	講師 <平成31年9月> 特別講義

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 - ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・〇〇〇〇講師、就任辞退により、〇〇〇〇講師に変更。平成28年1月AC教員審査済み。
- ・〇〇〇〇講師、職位不適格のため再審査。〇〇〇〇、助教として職位確定。平成28年1月AC教員審査済み。
- ・〇〇〇〇講師、就任辞退により、〇〇〇〇講師に変更。平成28年1月AC教員審査済み。

【平成29年度】

- ・〇〇〇〇講師、体調不良により3月31日付退職。平成29年5月より専任教員採用予定で公募中。科目は領域教員で担当。全て設置時AC教員審査済み。
- ・〇〇〇〇講師、3科目の追加。平成29年1月AC教員審査済み。
- ・〇〇〇〇准教授、就任辞退により、〇〇〇〇教授が一部授業を担当する。担当3科目については平成29年1月AC教員審査済み。
- ・〇〇〇〇教授、老年看護学に教授がいなかったため、29年4月より採用。なお、上記〇〇〇〇准教授の授業も一部担当する。平成28年11月AC教員審査済み。

【平成30年度】

- ・〇〇〇〇教授、就任辞退により、〇〇〇〇教授に変更。平成29年11月AC教員審査済み。
- ・〇〇〇〇准教授、体調不良により3月31日付で退職。〇〇〇〇講師に変更。平成30年1月AC教員審査済み。
- ・〇〇〇〇教授、1科目の追加。平成29年11月AC教員審査済み。
- ・〇〇〇〇講師、1科目の追加。平成29年11月AC教員審査済み。
- ・〇〇〇〇講師、1科目の追加。平成29年11月AC教員審査済み。
- ・〇〇〇〇助教、1科目の追加。平成29年11月AC教員審査済み。
- ・〇〇〇〇助教、1科目の追加。平成29年11月AC教員審査済み。
- ・〇〇〇〇講師、老年看護学教員補充 平成30年1月AC教員審査済み。
- ・〇〇〇〇講師、成人看護学教員補充 平成30年6月AC教員審査済み。
- ・〇〇〇〇教授、1科目の追加。平成30年6月AC教員審査済み。

看護学部

看護 【令和元年度】

- ・〇〇〇〇講師 成人看護学教員補充 平成31年1月AC教員審査済み。
- ・〇〇〇〇講師 一身上の都合により平成31年3月31日付で退職。
- ・〇〇〇〇助教 一身上の都合により平成31年3月31日付で退職。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
14	7
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

看護学部

看護学科

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
10	5	10	4	29	11	2	11	3	27
(8)	(4)	(9)	(4)	(25)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(C)	教授	准教授	講師	助教	計(D)
11	2	11	3	27	11	2	11	3	27
[1]	[Δ3]	[1]	[Δ1]	[Δ2]	[1]	[Δ3]	[1]	[Δ1]	[Δ2]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要審済みであり、**

完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
63	12	15
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{27}{29} = \boxed{93.1} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{12}{27} = \boxed{44.44} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	講師		H28. 03	必修	老年看護援助論	①	H28. 03……希望職位でないため就任辞退（28）			
				必修	専門ゼミナール	①				
				必修	老年看護学実習Ⅰ	①				
				必修	老年看護学実習Ⅱ	①				
				必修	統合看護実習	①				
				必修	予防看護	①				
2	講師		H28. 03	必修	急性期看護援助論	①	H28. 03……他法人への就職のため就任辞退（28）			
				必修	専門ゼミナール	①				
				必修	急性期看護学実習	①				
				必修	統合看護実習	①				
				必修	看護研究方法Ⅱ	①				
				必修	基礎ゼミナール	①				
3	准教授		H29. 03	必修	母性看護援助論	①	H29. 03……現職を継続せざるを得ないため就任辞退（29）			
				選択	家族看護	①				
				必修	看護過程演習	①				
				必修	専門ゼミナール	①				
				必修	母性看護学実習	①				
				必修	統合看護実習	①				
4	教授		H30. 03	必修	精神看護援助論	①	H30. 03……他大学へ役職者として就任のため辞退（30）			
				必修	精神看護学実習	①				
				必修	統合看護実習	①				
				必修	看護研究方法Ⅱ	①				
				必修	専門ゼミナール	①				
				必修	精神看護援助概論	①				
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
4	人	必修	25	科目	必修	25	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	26	科目	計	26	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---------------------------------|
| ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 |
| ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 |
| ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |

(3) 一② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	講師		H29.03	必修	急性期看護援助論	①	H29.3.31付け……………体調不良により辞任(29)			
				必修	専門ゼミナール	①				
				必修	急性期看護学実習	①				
				必修	統合看護実習	①				
				必修	看護研究方法Ⅱ	①				
2	准教授		H30.03	必修	慢性期療養生活援助論	③	H30.3.31付け……………他大学への転職のため辞任(30)			
				選択	ターミナルケア論	①				
				必修	専門ゼミナール	①				
				必修	慢性期看護学実習	①				
				必修	統合看護実習	①				
3	准教授		H30.03	必修	看護研究方法Ⅱ	①	H30.3.31付け……………体調不良により辞任(30)			
				必修	看護過程演習	①				
				必修	老年看護援助概論	①				
				必修	老年看護援助論	①				
				必修	看護過程演習	①				
				必修	専門ゼミナール	①				
				必修	老年看護学実習Ⅰ	①				
4	講師		H31.03	必修	老年看護学実習Ⅱ	①	H31.3.31付け……………他大学への転職のため辞任(元)			
				必修	統合看護実習	①				
				必修	看護研究方法Ⅱ	①				
				必修	看護過程演習	①				
				必修	基礎ゼミナール	①				
				必修	総合看護実習	①				
				必修	予防看護	①				
5	助教		H31.03	必修	精神看護援助概論	①	H31.3.31付け……………一身上の都合により辞任(元)			
				必修	看護過程演習	①				
				必修	基礎ゼミナール	①				
				必修	精神看護学実習	①				
合計(F)				後任補充状況の集計(G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
5	人	必修	34	科目	必修	34	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	35	科目	計	35	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) 一③ 上記(3)一①・(3)一②の合計

合計(D)+(F)				後任補充状況の集計(E)+(G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
9	人	必修	59	科目	必修	59	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	61	科目	計	61	科目	計	0	科目

(3) 一④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)一③合計(D)+(F)}{(2)一②設置時の計画(A)} = \frac{9}{29} = 31.03\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1		なし								
2										
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生便覧とシラバスによって指導体制を学生に周知した。また、新任の講師が学生生活全般の助言を行う旨、ポータルサイトを使って該当の学生に周知した。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画	
認 可 時 (平成28年)	<p>教員の補充を必要とされた17授業科目については、開設時又は科目開講時までに確実に専任教員を配置して教員を充足すること。</p>	留意事項	<p>教員の補充を必要とされた17授業科目については、開設時に講師2名と助教1名を配置してすべて担当できるように教員を充足した。</p>	履行済
	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。</p>	留意事項	<p>開設時に60歳代の教員6人、70歳代の教員2人が着任したが、支障なく新入生のオリエンテーション、講義等を履行している。</p>	履行中
設置計画履行状況 調 査 時 (平成28年)	<p>学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行なう場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p>	改善意見	<p>平成29年2月以降は、設置計画の変更はありません。今後は、緊急かつやむを得ない事由が生じた場合は、あらかじめ文部科学省にご相談いたします。</p>	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年)	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。</p>	留意事項	<p>平成29年4月に60歳代の教員2人が着任した。現在60歳代の教員8人、70歳代の教員2人であるが、支障なく新入生のオリエンテーション、1・2年次の講義を履行している。</p>	履行中
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年)	<p>看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。</p>	改善意見	<p>平成29年度末までは70歳代の教員は2名であった。設置計画上、平成30年度新たに70歳代の教員が就任し、3名となった。しかし、定年を超える教員が2名就任辞退及び退職し、新たに50歳代の教員を2名採用した。設置申請時に提出した教員組織編制の将来構想に基づき実施している。</p>	履行中
	<p>同一設置者が設置する既設学部等(修文大学短期大学部幼児教育学科第一部)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	改善意見	<p>平成29年度より新学部設置構想を踏まえた上で、入学定員の見直しを検討している。</p>	履行中
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 学則 看護学部 看護学科	① 新学部(医療科学部臨床検査学科 令和2年4月開設申請中)設置申請に関する事項を追加した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD委員会 ・修文地域研究センター ・修文国際センター ・その他 <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD委員会…短期大学のFD委員会およびSD委員会と共同開催 ・修文地域研究センター…平成30年6月23日(土)9:30～12:00「修文大学 看護・栄養セミナー」開催、 会場：修文大学7号館大講義室 平成30年11月10日(土)9:30～12:00「修文大学 看護セミナー」開催、 会場：修文大学7号館大講義室 ・修文国際センター…国際交流 姉妹校提携をしているハワイパシフィック大学の学生7名、教員1名と本学の学生を対象に、七夕サマースクールを開催、日時 平成30年7月26日(木)～27日(金) 看護学部10104教室 健康栄養学部教室・調理室・茶道室にて ・その他…教員の資質向上のためのワークショップへの派遣(看護実践研究指導センター：平成30年度看護教育ワークショップ) <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD委員会…次年度開催に向けての改善点及び開催内容の検討 ・修文地域研究センター…次年度開催に向けての改善点及び開催内容について ・修文国際センター…次年度開催に向けての改善点及び開催内容について <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD委員会…講演会、研修会 日時 平成30年7月25日(水)13時00分～14時30分 7号館大講義室 テーマ 「地域社会と連携したアクティブラーニングについて」 講師 名古屋商科大学 教授 参加者 本学大学教員、短期大学部教員、事務職員 ※地域社会と連携するためのきっかけを作る方略について学んだ。

- ・修文地域研究センター…学内セミナー
 - 1) 日 時 平成30年6月23日(土)9:30~12:00開催、会場：本学7号館大講義室
 - テーマ I. 看護セミナー「在宅看護学教育と臨地実習～本学の視点～」
 - II. 栄養セミナー「在宅における栄養ケア」
 - 講 師 I. 修文大学看護学部 教授
 - II. 医療法人八田内科医院・NPO法人インクルケア代表理事
 - 参加者 近隣の病院勤務の看護師、管理栄養士、本学教員
 - 2) 日 時 平成30年11月10日(土)9:30~12:00開催、会場：本学7号館大講義室
 - テーマ I. 看護セミナー「排泄ケアは、奥深い!!」
 - II. 看護セミナー「実習指導を円滑にする学生とのコミュニケーション」
 - 講 師 I. 名古屋大学大学院医学研究科看護学専攻 教授
 - II. 修文大学看護学部 教授
 - 参加者 近隣の病院勤務の看護師、本学教員
- ・修文国際センター…国際交流 姉妹校提携をしているハワイパシフィック大学の学生7名、教員1名と本学の学生を対象にした「セタサマースクール」を開催。
- ・その他…教員の資質向上のためにワークショップに1名を派遣
看護実践研究指導センター：平成30年度看護教育ワークショップ
日 時 平成30年10月29日(月)～ 10月30日(火) 千葉大学千葉キャンパスけやき会館
テーマ 自大学の強みや使命を活かすCQI
講 演 看護学教育モデルコア・カリキュラムの活用
報 告 CQIモデル試案 ワーク、交流会、全体ディスカッション

b 実施方法

- ・FD委員会…「active learning」に関する研修会を短大FD委員会と共同で開催した。
- ・修文地域研究センター…近隣の病院勤務の看護師・管理栄養士と本学看護学部教員で開催。本年度3年目の開催。
- ・修文国際センター…日時 平成30年7月26日(木)～27日(金)
会場 看護学部10104教室 健康栄養学部教室・調理室・茶道室にて
講師 看護学部教員、茶道講師
内容 26日…HPU Lecture: Lecturer Jennifer A. Naferrete:Non-pharmalogical pain management techniques
SU Lecture: Lecturer Katsunori Adachi:Association between job stress and lifestyle behaviors
SU Lecture: Professor Ayako Ishiguro: Poverty in Japan
・午後：本格的な茶道を体験、学生は盆たてに挑戦 Lecturer Youko Noguchi
27日…SU Lecture: Professor Teruo Yamashita:Aichi virus as a causative agent of human gastroenteritis
SU Lecture: Associate Professor Tomoko Oya-Ito:Fermented soybean products as functional foods
International Exchange with SU Students:Origami, Kendama, Dance et al.
・夕方は一宮市主催の盆踊りに参加(日米学生相互の交流)
- ・その他…看護実践研究指導センター：平成30年度看護教育ワークショップ帰学後、3Pを教職員、来学者に周知するため掲示した。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- ・FD委員会…看護学部44人中43人参加、健康栄養学部 21人中19人参加、短期大学部29人中20人参加、事務局31人中18人参加。
- ・修文地域研究センター…各セミナー約50名参加。(近隣の病院勤務の看護師・管理栄養士および本学教員)
- ・修文国際センター…ハワイパシフィック大学の学生7名、教員1名。本学20名程の学生会スタッフ(学生交流時)。
- ・その他…本学看護学部教員1名を派遣。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・FD委員会…授業への「active learning」の積極的な取組について検討する。
- ・修文地域研究センター…授業及び実習指導へ積極的に取り組み改善する。
- ・その他…看護実践研究指導センター：平成30年度看護教育ワークショップの研修内容を踏まえた積極的な授業内容の改善に取組む。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

学期ごとの「学生による授業評価アンケートの実施」を行った。アンケートの文言等を再検討した。
また、後期からは『授業内容について自主的に学習した。』『この授業1回あたりの学習（予習＋復習）した時間は』などの項目を導入し、学生の自主学習への取り組みについて問うた。

b 教員や学生への公開状況、方法等

毎年、冊子体にして、図書館にて公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学の看護学部は、健康栄養学部と連携した教育を展開し心豊かで倫理観を持ち、より高いレベルの看護の知識、技術、態度を持ち合わせ、他職種連携におけるコーディネーターとしての基礎的能力を備えた看護職者を育成することを目指している。栄養学部の先生方の講義は時には難しく感じるようだが、看護のどの専門領域でも栄養に関する知識技術は求められるため、学生たちの関心は高い。

3年次には専門領域の講義、演習、紙上事例の看護過程が入ってくるので、非常に努力して応用実習にも出るようになった。

ばらつきはあるが総じて態度物腰は学生としての気概が感じられ、心豊かで倫理観をもつ看護職者に育ちつつある。他職種連携の必要性は理解できてコーディネーターとしての素養を身に着けるのは統合実習まで待たなければならない。

国家試験合格100%を目指しているが、困難と思われる学生は特別学習クラスで担当の教師の助言を受けている。

教員の移動が少なかったことが幸いしてか学生と教員の関係は比較的良好で病院や地域の施設で貢献できる看護職者を送り出すことができると確信している。

② 自己点検・評価報告書

平成29年12月の教学マネジメント委員会において自己点検・評価を行うことが決定された。

平成30年1月までに教員は「教育活動」「研究活動」「大学運営」「社会貢献」の4項目について全て目標設定をする。最終的な報告書の作成／提出は平成31年1月とする。

a 公表（予定）時期

令和4年5月1日とする。

b 公表方法

作成した自己点検・自己評価報告書はCDに記録して図書館などに保存し、学内に公開するとともに、大学の自己点検・評価の資料として使用する。自己点検・自己評価の様式や、大学全体および各学部・各学科の結果の概要は本学ホームページにて公開する。

③ 認証評価を受ける計画

・令和4年度に評価機関（公益財団法人 日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （令和元年 9月 1日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。